

2026

授業計画（シラバス）

杉野服飾大学 服飾表現学科

3年次（2024年度生）

マネキン学

池田 公信

服飾表現学科 3年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

ファッションと密接な関係にあるマネキンの存在意義を学び、その価値と効果を知り、人とマネキンとファッションの関係性についての知識を深める。マネキンについての考察は、ファッションのみならずヒトを見つめることである。マネキンとは何か、その歴史や製法を知り、マネキンが成し得たものと価値、そして存在意義を探究する。

到達目標(学修成果)

マネキンを通じて刻々と変化する社会とファッション・ヒト・マネキンを考察することで、ファッションに対するより広い知見を得ることができる。また物事を異なる視点で考察することから得る様々な情報や他者の考えは、興味の有無を問わず物事に対する洞察力や感度を高める好機となる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

科目は卒業認定に必要な必須科目である。マネキンと服飾の関係は、人と服飾の関係と密接に関連しており、本科目で学んだ知見は他の科目にも活かされものと期待される。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

毎授業ごとの小レポートの提出：内容を理解し要点をまとめ、自分の考えを整理するために実施する。

小レポートは基本的に毎回の授業内に作成し提出すること。

小レポート及び実習での成果物は成績評価に反映する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

毎回の授業開始時にレジュメを配布

参考文献

「マネキンのすべて続編」マネキンディスプレイ商工組合、「マネキンの歴史」藤井秀雪 著

オフィスアワー・研究室

授業後約30分

備考

実習に際し用意するものを事前に説明します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 池田	【オリエンテーション】 マネキン学の概要/マネキンのイメージ認識/授業の流れ	小レポート「マネキンに対するイメージ」の提出	30分
2回 池田	【マネキンの歴史 パリ編 19世紀半ば~1940年代】 マネキン誕生/パリ/世紀末/アート/日本への影響	小レポート「パリのマネキンから受ける印象について」の提出	30分
3回 池田	【マネキンの歴史 日本編 黎明期~1960年代】 源流/島津マネキン/モダニズム/洋装化/作家/素材の変化	小レポート「島津マネキンの先進性について」の提出	30分
4回 池田	【マネキンの歴史 日本編 1970~80~90~現代】 既製服/体型変化/超リアル/VMD/デザイナー/空間	小レポート「急激に西洋化する社会が及ぼすマネキンへの影響」の提出	30分
5回 池田	【マネキンの製法 プラン/原形】 プラン/製法(手作り)/感性と技能:原形-量産-彩色	小レポート「プロダクト製品としてのマネキン製品製造についての考察」の提出	30分
6回 池田	【マネキンの製法 実演(造形・彩色)】 彩色の担当者による解説と実演	小レポート「モノづくりとしてのマネキン原形・彩色についての考察」の提出	30分
7回 池田	【マネキンとは】 マネキンとの関係性:ファッション/アート/人形	小レポート「マネキンのファッション性、アート性とは」の提出	30分
8回 池田	【マネキンとは】 マネキンの美(キレイ・カッコいい・カワイイ)	小レポート「マネキンとヒト、両者に通じる美とは」の提出	30分
9回 池田	【マネキンとは】 マネキンの構成要素:造形/ヒトガタ/身体性	小レポート「マネキンの根源的な要素について」の提出	30分
10回 池田	【マネキン実習】 マネキンを知る・マネキンの取扱い方/着装体験	実際にマネキンに触れ、機能と扱い方を知る コーディネートを構想する	30分
11回 池田	【マネキン実習】 店舗オンライン上の販売目的でコーディネート~撮影	販売を想定してコーディネートし撮影する	30分
12回 池田	【マネキン実習】 実習に続きコーディネート~撮影~出力~投票	販売を想定してコーディネートし撮影する 画像を出力し投票する	30分
13回 池田	【マネキンのサスティナビリティとビジネス】 環境配慮と持続性/販促ツールとしての機能と効果	小レポート「マネキンの各種取組みとビジネスとしてのマネキンの考察」の提出	30分
14回 池田	【マネキン表現実習】 内容変更の場合アリ メイクや装飾を施し、新たなマネキンを表現する	実際のマネキン頭部に既成概念にとらわれない表現を試みる	30分
15回 池田	【マネキンの価値と未来、存在意義】 期末レポート課題の発表と提出期限等の説明	小レポート「初回イメージとの差異、その視点、考えの変化について」の提出	30分

プレゼンテーション技法

大極 勝

服飾表現学科 3年 前期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

実社会において、その考えや主張を理解する基本はコミュニケーションの積み重ねにあります。そのコミュニケーションを円滑にするために必要となるものがプレゼンテーション力です。そこには情報を発信する側の 外見、口調、内容が問われています。コミュニケーショントレーナーとしての実務経験を活かし、各要素の重要性を捉え、アクティブラーニング形式を採用してプレゼンテーションの実践力を養う授業です。

到達目標(学修成果)

必要な情報を「伝える」から「伝わる」情報となるべく、実社会における様々なシーンを事例に取り入れながら、聴き手に『行動の変容』を促す実践的なプレゼンテーション力を体得します。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、服飾表現学科の必修科目であり、卒業要件科目の単位です。実社会に出た時に、新たな力となる考え方と表現力の基盤を作ることができるような、全授業の積極的理解のまとめになります。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

各回講義内で課題設定し、次回の講義で発表。授業のまとめとして、期末にはペーパー試験を実施。後日キャンパスマジックによる総評にてフィードバックします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

各回とも、当日使用した資料、関連情報等を授業終了後にキャンパスマジックにてデータ配信します。

参考文献

授業時間に指示します。

オフィスアワー・研究室

ファッションビジネス・マネジメントコース〔3402教室〕または講師控室にて授業前30分程度待機しています。

備考

全15回ともキャンパスマジックにて授業用レジュメ・課題等を配信します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 大極	「プレゼンテーション論」の振り返り 言語、非言語コミュニケーションのあり方確認	プレゼンの基本確認 以降レジュメは キャンパスマジック(以下CM)にて配信	30分
2回 大極	『ガクチカ』プレゼン実習 - グループプレゼン 3分間自己紹介作成(表現学科で得たもの3つ)	復習:自己紹介文のブラッシュアップ	30分
3回 大極	『ガクチカ』プレゼン実習 - グループプレゼン 3分間自己紹介実習(表現学科で得たもの3つ)	復習:自己紹介文の完成	30分
4回 大極	『ガクチカ』プレゼン実習 - クラスプレゼン 3分間自己紹介実習(表現学科で得たもの3つ)	復習:自己紹介文の完成・就活に活かすものへ	30分
5回 大極	『ガクチカ』プレゼン実習 - クラス 1分間自己紹介実習(表現学科で得たものベストをプレゼン)	復習:自己紹介文の完成・就活に活かすものへ	30分
6回 大極	原稿持ちプレゼンテーションと原稿暗記プレゼンテーション それぞれのメリット、デメリット比較	復習:両方法の使い勝手を理解	30分
7回 大極	シンプルスライド(TED版)とテキストスライド(社用版) それぞれのメリット、デメリット比較	復習:両方法の使い勝手を理解	30分
8回 大極	『ガクチカ』プレゼン実習 - 企業面接の詳細理解と実践を想定した紹介文作成	復習:紹介文のブラッシュアップ	30分
9回 大極	『ガクチカ』プレゼン実習 - 企業面接の詳細理解と実践を想定した紹介文作成	復習:面接実践に向けて振り返り	30分
10回 大極他	外部ゲストのプレゼンテーションを学ぶ	復習:プレゼンの違いを感じとり、自身のヒントとする	30分
11回 大極	プレゼンテーションVTRから様々なプレゼンを学ぶ TEDを素材にして、あるべき手本を確認する	復習:プレゼンの違いを感じとり、自身のヒントとする	30分
12回 大極	『ガクチカ』プレゼン実習 - 企業集団面接の詳細理解と実践を想定したプレゼン実習	復習:集団面接での想定プレゼンを振り返る	30分
13回 大極	『ガクチカ』プレゼン実習 - (長所・短所を活かす) グループプレゼン、クラスプレゼン	伝わるプレゼンを考える	30分
14回 大極	『ガクチカ』プレゼン実習 - (長所・短所を活かす) グループプレゼン・クラスプレゼン	就活に向けた自分表現をまとめる	30分
15回 大極	まとめとしてペーパー試験実施 授業内容の総合的な理解度を確認する	プレゼンの基本は「人」対「ひと」であることを理解し、将来に向けて振り返り	60分

ポートフォリオ演習

千代崎 寛

服飾表現学科 3年 前期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

分野を問わず様々な領域で活躍するクリエイターは自身の作品や活動の記録を意識的に活用している。この授業の目的はポートフォリオの制作を通じて各自がセルフプロデュースを行っていく手掛かりとすることである。他者に伝えるための客観的な視点に立ち、記録と編集を繰り返すことによって思考プロセスや軸となるもの、魅力となり得る持ち味などを自己分析することができる。編集段階での知的財産権(引用・クレジットなど)の考え方を編集の技術によって実践していく。各自の思考の広がり和社会との関係における視点を準備していく。

到達目標(学修成果)

- 1.各専門分野におけるビジュアルイメージを具体化するための基礎的な「表現能力」を身に付けることが可能となる
- 2.制作・演習とノートによる記録を通して「ポートフォリオ」の重要性について考察や理解ができる
- 3.多角的な視点でポートフォリオをとらえ活用する術を知ることができる

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門必修科目で卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシー(学位授与の方針)については「ポートフォリオ演習」は服飾表現の分野で企画・提案や実際の現場において活躍できる専門力向上に資する科目です

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

ディスカッションと研究ノート・課題返却のコメント、プレゼンテーションの講評などで授業内にて随時フィードバックを行う。15回目提出された「ノート」の添削、返却方法は授業内に指示します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

授業の進行にあわせて、プリントなどで適宜配布する。

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示する。研究室：空間構成研究室(日野校舎B棟106)

備考

専攻・専門の枠内だけではなく他の分野への興味や好奇心・関心や体験を持つことを常に意識して欲しい。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 千代崎	オリエンテーション・授業概説と導入 ポートフォリオと進路の関係、課題「ノート」について～	復習：配布資料(授業概要、授業計画など)の内容を熟読しておく。	30分
2回 千代崎	演習 1「作品」または「活動記録」のリストアップ 課題 フィールドワーク 「リサーチ 調査」	予習：「ノート」準備 復習：フィールドワーク 調査	60分
3回 千代崎	演習 2「コンセプト・構成を考える」 データ管理の配慮 制作 1台割りとファイリングサンプルの制作	復習：フィールドワーク 調査・プレゼンテーション準備、制作 へ向けて	60分
4回 千代崎	課題 プレゼンテーションとディスカッション・講評 制作 2ファイリングサンプルの制作・「ノート」提出	予習：演習 1へむけてのリサーチ 復習：制作 の仕上げ	90分
5回 千代崎	演習 1「記録画像の撮影」スタジオライティング演習 課題 フィールドワーク 「リサーチ 批評」	予習：演習 2へむけてのリサーチ 復習：フィールドワーク まとめと分析	60分
6回 千代崎	演習 2「記録画像の撮影」スタジオライティング演習 制作 1ブックレット制作	予習：演習 2へむけてのリサーチ 復習：制作 の仕上げ、課題 プレゼン準備	30分
7回 千代崎	課題 プレゼンテーションとディスカッション・講評 制作 2ブックレット制作	制作 へむけてリサーチ 復習：フィールドワーク 批評準備	60分
8回 千代崎	制作 ブックレット制作プレゼンテーション 制作 1 ポートフォリオ 1 プライバシー・肖像権	復習：制作 の制作・ファイリングリサーチ	90分
9回 千代崎	制作 2 ポートフォリオ 2 (ファイリング) 知的財産権の考え方・著作権の表記について	復習：制作 の制作・ファイリングリサーチ	90分
10回 千代崎	制作 1 ポートフォリオ 1 (オリジナル製本) 台割りとファイリングサンプルの制作・「ノート」提出	復習：制作 の制作・製本リサーチ	60分
11回 千代崎	制作 2 ポートフォリオ 2 (オリジナル製本) グループワークでのブラッシュアップ	復習：制作 の制作・製本リサーチ	60分
12回 千代崎	制作 1 ポートフォリオ 1 (オリジナル製本) 台割りとファイリングサンプルの制作・「ノート」提出	復習：制作 の制作・プレゼンテーション準備	60分
13回 千代崎	制作 2 ポートフォリオ 2 グループワークでのブラッシュアップ・プレゼンテーション	復習：制作 の制作・プレゼンテーション準備	60分
14回 千代崎	制作 3 ポートフォリオ 3 プレゼンテーション・講評・「ノート」提出	復習：制作 の制作	90分
15回 千代崎	まとめ・展開 表現・公開・出版	予習：ポートフォリオの継続展開	60分

衣装デザイン・制作

大町 志津子、瀧川 美佐子

服飾表現学科 3年 前期 選択必修（2単位 実験実習）

授業の方針・概要

この授業の目的は衣装表現に必要な知識と表現力を学び、造形技術の基礎力・応用力を身に付けることにある。担当教員の欧米におけるオペラ、バレエ、映画等の衣装デザイナーのキャリアを活かした実践的なデザイン指導や、アパレルメーカーでのモデリスト、パタンナーとしての実務経験に基づく技術指導により各自の衣装に対する表現力を養う。衣装表現に必要な知識と表現力を写真や映像などで学び、造形していくための基礎力、応用力、技術力を養う。

到達目標（学修成果）

西洋服飾史の知識や時代衣装を把握するためのリサーチができるようになる。
キャラクターのトータルイメージを作り、デザイン画を描き実際に制作することができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は服飾表現学科の衣装デザイン専攻の学生にとって必修であり、服飾表現の基礎となる表現方法を学ぶ科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内に提出した課題について随時解説と講評を行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

必要に応じて資料を配布する。

参考文献

Patterns of Fashion Janet Arnold著 Women's Dress Patterns Susan North and Jenny Tirana著

オフィスアワー・研究室

日野校舎BG101 オフィスアワー：水曜日13:00-14:00

備考

進度により日程及び内容を変更する場合がある。
感性を磨きより広い視野を持つことを各自が心がける。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 大町	オリエンテーション 19世紀時代衣装の考察・現代の服との関連性について説明	予習：シラバスの確認 復習：時代考証の解釈	60分
2回 瀧川	1/2サイズで衣装製作	予習：イメージ作り 復習：レポート・デザイン画準備	60分
3回 大町	動画を観ながら衣装表現を学びイメージトレーニング デザイン画制作・デザイン相談	予習：テキストの下調べ 復習：制作を進める	30分
4回 瀧川	原型・パターン・トワル制作	予習：制作を進める 復習：制作を進める	60分
5回 大町	日々見たもの・感じたものを描きプレゼンテーション 18世紀時代衣装の考察、デザイン画の描き方（複写）	予習：デザイン画作成 復習：デザイン画修正	30分
6回 瀧川	トワル制作・点検	予習：制作を進める 復習：制作を進める	60分
7回 大町	空間の中での衣装の認識・スタジオ演習、フィードバック、 デザイン相談	予習：デザイン画修正 復習：イメージを深める	30分
8回 瀧川	衣装制作1	予習：制作を進める 復習：制作を進める	30分
9回 大町	校外研修（舞台、映画、展覧会鑑賞など）で衣装を総合的に学 ぶ、レポート提出	予習：題材について知識を得る 復習：制作を進める	30分
10回 瀧川	衣装制作2	予習：制作を進める 復習：制作を進める	30分
11回 大町	音楽からのイメージトレーニング・デザイン画作成 空間の中での衣装の認識・照明の効果などスタジオ演習	予習：撮影企画書作成 復習：イメージを深める	30分
12回 瀧川	衣装制作3	予習：スタイリング考察 復習：完成イメージを深める	30分
13回 大町	フィードバックとトータルイメージに向けての考察	予習：課題作品を完成させる 復習：レポート作成	60分
14回 瀧川	衣装修正	予習：撮影のための準備 復習：プレゼンテーションの準備	60分
15回 大町	撮影、フィードバック、ディスカッション	予習：プレゼンテーションの準備	30分

スタイリング演習

数井 靖子、中村 のん

服飾表現学科 3年 前期 選択必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

授業担当者の40年以上にわたるスタイリストとしての経験を元に、スタイリストにとって関わりの深い写真世界への知識を深め、広告・雑誌の作られ方について学びます。また、2年次で学んだ時代別ファッションをふまえた作品作りを通して、流行の変遷の知識を定着させます。授業担当者の実務経験による実際の衣服を使用した授業では、個性を引き出し魅力的に見せるための人と衣服とのバランスやポーズ、撮影における背景やアングル、さらにはファッションを通じて人とコミュニケーションする方法について学びます。

到達目標 (学修成果)

雑誌・写真・広告等におけるファッションの位置づけを理解し、流行と社会の関係を理解する能力を習得し、人と衣服の関係を理解できる知識とスタイリング技術を身につける。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾表現学科のスタイリング専攻において卒業認定に必要な必修科目です。より専門性を高めて学修していく上での基礎科目になります。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

感想文は添削して返却する。各提出作品、レポートに評価を与え、授業内外で返却時にフィードバックをする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

授業内容に合わせて授業担当者がプリントを作成して配布。学生は一冊のファイルにまとめる。

参考文献

必要に応じて授業時に指示。 「増補新版 図解服飾用語事典」(杉野芳子・編著)杉野学園ドレスメーカー学院出版局

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：授業初日に伝えます 研究室：日野校舎B203

備考

スタイリング演習 修得者のみ履修可。写真展鑑賞、撮影等、フィールドワークの内容により学外に出ることもあります。スタイリスト関連のプロをゲスト講師とした講義を行うこともあります。学生が準備する備品に関しては授業時に告知します。進展により、日程及び内容を変更する場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 中村	「時代別ファッションの歴史」のマップ制作	予習：資料集め	90分
2回 数井	「時代別ファッションの歴史」のマップ制作	予習：資料集め 自宅での制作	90分
3回 数井	「時代別ファッションの歴史」のマップ制作	予習：資料集め 自宅での制作	90分
4回 数井	「時代別ファッションの歴史」のマップ制作 & 提出、及びプレゼン、フィードバック	予習：資料集め 自宅での制作	90分
5回 中村	「写真の世界」 担当教員のスタイリストとしての40年間の実務経験を踏まえ、写真集の作られ方についての講義	予習：資料集め	90分
6回 中村	「写真の世界」 あらゆる写真媒体におけるスタイリストの役割や、モデルやタレントのイメージ作りについての講義	予習：資料集め 復習：感想レポート	90分
7回 数井	「写真の世界」 写真集を資料としながら、著名な写真家やその世界の理解の仕方、写真の種類について講義	予習：資料集め 復習：感想レポート	90分
8回 数井	「雑誌の読み方・作られ方」 雑誌制作の現場におけるスタッフの構成、制作のプロセス、ページ割、企画の出し方の講義	予習：資料集め 復習：感想レポート	90分
9回 中村	「雑誌の読み方・作られ方」 ジェンダー別、年代別、タイプ別の雑誌の種類と読者ターゲットの見極め方についての講義	予習：書店で雑誌の種類を調べる 復習：感想レポート	90分
10回 中村	雑誌の読み方・作られ方」 ファッションページにおけるクレジット、キャプション、必要な用語に関する講義	復習：わからない単語について調べる	90分
11回 中村	「ファッション撮影」 時代別ファッションをテーマに、「ある時代」をテーマとしたスタイリングの実践	予習：自前の洋服や小物を集める	90分
12回 中村	「ファッション撮影」 担当教員のスタイリストとしての40年間の実務経験からロケ撮影におけるスタイリストの動きを指導	復習：感想レポート	90分
13回 中村	「ファッション撮影」 撮影した写真のプレゼン、セレクトの方法を講義し、フィードバックとディスカッション	予習：画像セレクトして教室内のPCにデータをまとめる	90分
14回 数井	「ファッション撮影」 撮影した写真を元に写真集を制作	予習：自宅での制作	90分
15回 数井	「ファッション撮影」 撮影した写真を元に写真集を制作	予習：自宅での制作	90分

ビジュアルマーチャンダイジング演習

中島 ゆう子

服飾表現学科 3年 前期 選択必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

VMDの基本を理解し、売り場のつくり方、店舗の動き、販売商品、流行カラー、トレンド分析を含めて売り場つくりの基本を学修し、魅力的な売り場の空間を組立てる。1/10サイズのマケットを作成し、店舗の空間スペース、VP、IP、PPなどを学修する。マケットを活用して、プレゼンテーションを実施。授業担当者のファッション・プロデューサーとしての実務にも触れながら授業を実施します。

到達目標 (学修成果)

実務として売り場でディスプレイ及びVMDを作成できる人材を学修する。魅力的な店舗や展示空間を想定し視覚的に商品の世界観を伝えることができる能力のある人材育成を目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ビジュアルマーチャンダイジング専攻学生の卒業認定に必要な科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

課題提出のフィードバックは、授業内で講評、解説し返却します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

改定第3版国家検定 商品装飾展示技能検定 学科編 実技編 著者：日本ビジュアルマーチャンダイジング協会

参考文献

なし

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは、日野校舎B棟 B205 B101

備考

ビジュアルマーチャンダイジング検定に向けて学習します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 中島	基本用語を暗記。ディスプレイの知識を高める。動線、ファザード、デッドスペース、フォーカルポイントなど。	予習：基本用語の暗記	45分
2回 中島	ネットを使いVMDイメージコラージュ6分類を作成。カラー、ナチュラル、クリスマスなどに6分類する。	復習：完了しなかった課題は自宅で作成。	45分
3回 中島	PCを使いイメージコラージュの作成。それぞれ学生と打合せし、内容確認、及び修正する。	復習：完了しなかった課題は自宅で作成。	45分
4回 中島	イメージコラージュ本日提出。学生より内容確認、説明を聞く。今後リアル店舗のミニチュア版作成のテーマを決定。	予習：ミニチュア店舗のイメージに必要な小物を考える。	45分
5回 中島	市場調査実施。秋冬の売り場がどうなっているか、ディスプレイチェック。原宿、渋谷地区の商業施設を調査。	復習：市場調査のレポート作成。	45分
6回 中島	VP計画書作成。展開テーマ及びコンセプト、展開期間、ディスプレイ雑貨、陳列方法、展開カラー、スケッチ作成。	予習：マケット作りの準備。	45分
7回 中島	店舗マケット作成① スケジュール表作成。予算表作成。	予習：100円ショップでミニチュア店舗に使う小物を購入。	45分
8回 中島	店舗マケット作成②魅力的な店頭、驚きが伝わる画期的なVPを作成する。床、壁面、天井の決定。	復習：考えた店舗イメージにずれがないか事前にチェックする。	45分
9回 中島	店舗マケット作成③ 1/10サイズで作成。商品の決定。必要なアイテムをネットからセレクト。	予習：床材、壁面などの材料購入。	45分
10回 中島	店舗マケット作成④ 店舗、什器、サイズを決定し、パネルカット作業の実施。	予習：100円ショップでミニチュア店舗に使う小物を購入。	45分
11回 中島	店舗マケット作成⑤ 床、壁、天井素材をパネルに貼る。什器、ハンガーの作成。	復習：自宅ハンガーなどの小物什器作成。	45分
12回 中島	店舗マケット作成⑥ 学生とディスカッション。イメージカラーを特定し、店舗で販売する商品の選出。	復習：自宅棚、ラック、マネキンを作成。	45分
13回 中島	店舗マケット作成⑦ 各学生とのディスカッション及び修正。マネキン用VPコーディネート、雑貨などの選出。	復習：VP店舗を完成させる。	45分
14回 中島	店舗マケット店舗⑧ 完成までの最終仕上げ 次週のプレゼン練習。学生とディスカッション、修正。	予習：プレゼンの練習	45分
15回 中島	プレゼンテーション実施。計画書、イメージコラージュを使いプレゼンをする。講評とディスカッション。	復習：プレゼンの反省及び修正ポイントの見直し。	45分

メディア表現 (映像・ショープロデュース)

角倉 典彦、澤野 洋士

服飾表現学科 3年 前期 選択必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

課題による様々な映像作品制作演習を主なものとする。実務者である現役映像ディレクターの指導の下、個別制作とグループ制作により課題テーマを、企画/撮影準備/撮影/編集などにより具現化する。スタジオ形式の模擬放送番組制作とインターネット放送局運営の実施演習も行う。模擬ファッションショーの企画立案と制作も行う。目黒校舎でのオープンキャンパス日に模擬放送収録をデモンストレーションする。

到達目標 (学修成果)

映像制作のノウハウや技術だけではなく、論理的な企画/構成を立てられる思考方法の修得を目指す。映像を主体として様々な表現方法を使い分けられるようになることが目的である。また学生がファッションショーを自主運営出来ることも到達目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

メディア表現専攻学生の卒業要件科目で、必修科目である。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

メール等を活用し常時質問等を受け付ける。課題については授業内で講評。レポートはその都度メールにて提出し、添削後メールで返却します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

特になし

参考文献

その都度プリントにて配布

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーの曜日、時間は授業内で指示。研究室：日野校舎B105映像・メディア表現研究室 連絡：教務課

備考

動画撮影カメラとノンリニア編集ソフト(プレミアなど)を、使いこなせることを前提とする。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 角倉	オリエンテーション 課題1 映像制作 企画立案 (日野校舎)	具体的内容 (予習・復習等) 復習: 番組企画書と構成案の作成	120分
2回 角倉	課題1 映像制作 企画プレゼンテーション/ロケーションハンティング/撮影準備/撮影 (日野校舎)	復習: 撮影	120分
3回 澤野	課題1 映像制作 編集/MA (日野校舎)	復習: 編集/MA 復習: 編集/MA	60分
4回 角倉	課題1 作品プレゼンテーション、講評 課題2提示 映像制作 企画立案 (目黒校舎)	復習: 番組企画書と構成案の作成	120分
5回 澤野	課題2 映像制作 企画プレゼンテーション/ロケーションハンティング/撮影準備/撮影 (日野校舎)	復習: 撮影	120分
6回 澤野	課題2 映像制作 撮影 (日野校舎)	予習: 撮影データ管理/整理	60分
7回 澤野	課題2 映像制作 編集/MA (日野校舎)	復習: 編集/MA	120分
8回 角倉	課題2 作品プレゼンテーション、講評 課題3提示 映像制作 企画立案 (目黒校舎)	復習: 番組企画書と構成案の作成	60分
9回 澤野	課題3 映像制作 企画プレゼンテーション/ロケーションハンティング/撮影準備/撮影 (日野校舎)	復習: 撮影	60分
10回 澤野	課題3 映像制作 撮影 (日野校舎)	予習: 撮影データ管理/整理	30分
11回 澤野	課題3 映像制作 編集/MA (日野校舎)	予習: 撮影データ管理/整理 復習: 編集/MA	120分
12回 角倉	課題3作品プレゼンテーション、講評 完成作品ポートフォリオ制作ー	復習: ポートフォリオ完成	60分
13回 角倉	模擬放送局立ち上げ準備 グループ討議 サブ出しVTR編集/テロップ作成/リハーサル (日野校舎)	復習: 構成案/シナリオ作成	60分
14回 角倉	模擬ファッションショー企画運営 (日野校舎)	復習: サブ出しVTRの制作	120分
15回 角倉	オープンキャンパス日に模擬放送「SUGINO.TV(仮称)」運営制作デモンストレーション (目黒校舎)	予習: 当日段取り確認	60分

衣装デザイン・制作

大町 志津子、瀧川 美佐子

服飾表現学科 3年 後期 選択必修（6単位 演習）

授業の方針・概要

この授業の目的は衣装表現に必要な知識と表現力を学び、造形技術の基礎力・応用力を身に付けることにある。担当教員の欧米におけるオペラ、バレエ、映画等の衣装デザイナーのキャリアを活かした実践的なデザイン指導や、アパレルメーカーでのモデリスト、パタンナーとしての実務経験に基づく技術指導により各自の衣装に対する表現力を養う。

到達目標（学修成果）

西洋服飾史の知識を得て時代衣装を把握し、ストーリーの世界観を作り、キャラクターのトータルイメージを具現化することができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は服飾表現学科の衣装デザイン専攻の学生にとって必修であり、服飾表現の基礎となる表現方法を学ぶ科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内に提出した課題について随時解説と講評を行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	10%

教科書

必要に応じて資料を配布する。

参考文献

Patterns of Fashion Janet Arnold著 Women's Dress Patterns Susan North and Jenny Tirana著

オフィスアワー・研究室

日野校舎G101 オフィスアワー：水曜日11:00-12:00

備考

進度により日程及び内容を変更する場合もある。 感性を磨きより広い視野を持つ事を各自心がける。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 大町	オリエンテーション 19世紀時代衣装の考察、現代の服との関連性について	復習：文献・資料を見ておく	60分
2回 瀧川	衣装制作1（19世紀）	予習：制作を進める 復習：制作を進める	30分
3回 大町	イメージトレーニング・デザイン画作成、デザイン相談1	予習：時代考証を行う 復習：レポート、デザイン画作成	60分
4回 瀧川	衣装制作2	予習：制作を進める 復習：制作を進める	60分
5回 大町	企業（衣装制作関連）において学外演習を行う	復習：学外演習日誌の記入・講評	60分
6回 瀧川	衣装制作3	予習：制作を進める 復習：制作を進める	60分
7回 大町	服飾資材についての説明 イメージトレーニング・デザイン画作成、デザイン相談2	予習：レポート、デザイン画修正 復習：イメージを深める	60分
8回 瀧川	衣装制作1	予習：制作を進める 復習：制作を進める	60分
9回 大町	20世紀衣装の考察、音楽を聴いてのイメージトレーニング デザイン相談1	予習：題材について知識を得る 復習：イメージのレポート作成	60分
10回 瀧川	衣装制作2	予習：制作を進める 復習：制作を進める	60分
11回 大町	イメージトレーニング、デザイン相談2 空間の中での衣装の認識・スタジオ演習	予習：イメージを深める 復習：イメージを深める	60分
12回 瀧川	衣装制作3	予習：撮影企画書作成 復習：トータルイメージを深める	60分
13回 大町	トータルイメージに向けての考察 撮影企画書提出	予習：作品を完成させる 復習：ポートフォリオ作成	60分
14回 瀧川	衣装制作4（修正）	予習：撮影のための準備をする 復習：プレゼンテーションの準備	60分
15回 大町	撮影・プレゼンテーション・ディスカッション・講評 ポートフォリオ提出	予習：プレゼンテーションの準備	30分

スタイリング演習

数井 靖子、中村 のん

服飾表現学科 3年 後期 選択必修 (6単位 演習)

授業の方針・概要

スタイリストの仕事は、各分野のプロたちや様々なカルチャーと交流します。人とのコミュニケーションとあらゆるニーズへの対応力はスタイリストにとって非常に重要です。学外演習を主とし、授業担当者の40年のキャリアの中で関係してきた企業、または個人の元での実体験を通して視野を広げ、スタイリストのみならず、アパレル業界、エンタメ業界への理解を深めます。「白いシャツから広がる世界」では、学外演習を通して学んだ知識やスキルを活かし、リメイク衣装の制作とスタイリング、撮影の実践を通して、人を魅力的に見せる衣服のバランスを見る力・ファッションを通して人とコミュニケーションする自信を身につけます。

到達目標 (学修成果)

学外演習と写真撮影を通してプロとして仕事をしていく上での自信につなげていきます。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾表現学科のスタイリング専攻において卒業認定に必要な必修科目です。プロになることを前提に、より専門性を高め学修していく上での科目になります。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

感想文は添削して返却する。各提出作品、レポートに評価を与え、授業内外で返却時にフィードバックをする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

授業内容に合わせて授業担当者がプリントを作成して配布。学生は返却された課題を含め、一冊のファイルにまとめる。

参考文献

授業時に使用する映画のDVDや書籍に関して、図書館から借りる、購入する、レンタルする等に関しては事前にタイトルを伝え準備する。学生に購入を求める場合もあります。「はじめてのエシカル」(山川出版社)ほか

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：授業初日に伝えます 研究室：日野校舎B203

備考

スタイリング演習 修得者のみ履修可。学外演習、およびショップリサーチや撮影等、フィールドワークの内容により学外に出ることもあります。スタイリストと関連のあるプロをゲストとして招く可能性もあります。学生が準備する備品に関しては、授業時に告知します。学外演習は企業側の都合を優先しますので、進展により、日程及び内容を変更する場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 中村	後期授業のオリエンテーション、スタイリストにとって必要な基本スキルの実践、学外演習に関する説明	準備：たたみ、ラッピングの実践のための自前のアイテム持参	30分
2回 学外	学外演習	課題：ショップリサーチ 復習：感想レポート	120分
3回 学外	学外演習	準備：「学外演習日誌」の記入	30分
4回 学外	学外演習	課題：授業担当者指定の映画、展示等に行く。 復習：感想レポート	120分
5回 学外	学外演習	準備：「学外演習日誌」の記入	30分
6回 学外	学外演習	準備：「学外演習日誌」の記入	30分
7回 学外	学外演習	準備：「学外演習日誌」の記入	30分
8回 学外	学外演習	準備：「学外演習日誌」の記入	30分
9回 数井	学外演習体験後の報告。日誌提出。採寸の方法。課題「白いシャツから広がる世界」デザイン画作成	準備：白シャツ購入	120分
10回 数井	白シャツリメイク制作・スタイリング	準備：リメイクするための材料を揃える	120分
11回 中村	「白いシャツから広がる世界」スタイリングした白シャツのコーディネート実践	準備：リメイクした作品、コーディネートに使用するアイテム持参	120分
12回 中村	「白いシャツから広がる世界」リメイクした白シャツを着用したロケーション撮影実践	復習：感想レポート	60分
13回 中村	「白いシャツから広がる世界」撮影した写真のセレクトとプレゼンとフィードバック	復習：提出に向けて自宅でも制作を進める	120分
14回 数井	「白いシャツから広がる世界」写真集制作	復習：提出に向けて自宅でも制作を進める	120分
15回 数井	課題作品「白いシャツから広がる世界」提出 作品のプレゼンとフィードバック	予習：課題制作 復習：課題図書の感想レポート	120分

ビジュアルマーチャンダイジング演習

中島 ゆう子

服飾表現学科 3年 後期 選択必修 (6単位 演習)

授業の方針・概要

VMDを学ぶ。ビジュアルマーチャンダイジングは、ファッションの基本、素材名、ディテイル名、アイテム名、サイズなど学生が触って覚える授業を実施。将来、企業で働いた時に必要なファッションの基本を徹底的に指導し、どんな時にも対応できるレベルアップを図る。後半は催事を伴ったVPを主力にしたマーケットを作成。資質、能力、判断力、知識、教養がある豊かな人間性を作り上げることを目指します。授業担当者のファッション・プロデューサーとしての実務にも触れながら授業を実施します。

到達目標 (学修成果)

ファッションの基本をじっくり学ぶ。店舗の販売戦略、販売商品、流行カラー、トレンド分析など基本を学ぶ。1年間の営業スケジュールを理解し、売り場の流れ、販売戦略が組める人材を育成することが目標です。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ビジュアルマーチャンダイジング専攻学生の卒業認定に必要な科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

課題提出のフィードバックは、授業内で講評、解説し返却します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

改定第3版 国家検定 商品装飾展示技能検定 学科編 技能編 著者：日本ビジュアルマーチャンダイジング協会

参考文献

なし

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは、日野校舎B棟 B205 B101

備考

ビジュアルマーチャンダイジング検定3級合格を目指します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 中島	基本用語の復習。ゴールデンゾーンの意味、ゴールデンゾーン、VP活用法などを指導。	予習：基本用語の暗記	45分
2回 中島	素材の基本を学ぶ。VMDに必要な素材名を触って理解する授業の実施。カットソー、布帛、ニットを学ぶ	復習：天竺、畦編み、コーディロイなど市場で流通する素材を事前調査	60分
3回 中島	素材小テスト実施。ディテイル名の勉強。ネックの名称、袖の名称、袖口の名称などを暗記する。	復習：勉強したディテイル名を暗記	60分
4回 中島	アイテム名の勉強。カーブパンツ、クロフト丈トップス、パンツ、重衣料、ワンピースなどアイテム名を覚える。	予習：勉強したアイテム名の暗記。	60分
5回 中島	ディテイル、アイテム名の小テスト実施。 1月～6月。店舗写真を使い月度毎の売り場展開を学ぶ。	復習：1月～6月の店舗運営に必要な事項をレポートにまとめる。	60分
6回 中島	7月～12月。店舗写真を使い月度毎の売り場展開を学ぶ。 主要アイテム、別度別カラーの流れ、コーディネートなど。	復習：7月～12月の店舗運営に必要な事項をレポートにまとめる	45分
7回 中島	5回、6回の授業を受けてから52週営業スケジュール作成。 1年間の売り場の運営、戦い方の表を作成、提出。	復習：52週営業ストーリーを作成。 提出日は8回目の授業開始時。	45分
8回 中島	マーケットリサーチ実施。企業がどんなフェアや催事を仕掛けているかの調査。その後ディスカッション。	復習：コラージュ作成。	45分
9回 中島	VPマーケット作成①魅力的なコラージュ、及びVP計画書作成。 フェア催事を含めて集客力が上がる店舗空間が基本。	予習：100円ショップで店舗に使う小物を購入。	45分
10回 中島	VPマーケット作成②1/10サイズで作成。 床、壁面、天井の決定。	予習：足りない小物を追加購入。	45分
11回 中島	VPマーケット作成③1/10サイズで作成。什器の決定。 質問、修正を重ねながら進行する。	復習：自宅で棚、ラック、ハンガーを作成。	45分
12回 中島	VPマーケット作成④1/10サイズで作成。商品の決定。パンフレット、POPなどを作成。	復習：VPを完成させる。	45分
13回 中島	VPマーケット作成⑤1/10サイズで作成。 最終仕上げ。次週のプレゼン練習。	復習：プレゼン練習。	45分
14回 中島	VPマーケット作成⑥プレゼンテーション実施 講評とディスカッション。作品を写真にて保存する。	復習：プレゼン反省	45分
15回 中島	VMD検定のチェック。課題を検討しビジュアル検定に合格できるノウハウを身につける。	復習：レポート提出。	45分

メディア表現 (映像・ショープロデュース)

角倉 典彦、千代崎 寛、澤野 洋士

服飾表現学科 3年 後期 選択必修 (6単位 演習)

授業の方針・概要

本講座は、制作会社の様々な現場でのアシスタント業務を経験する学外演習授業を主なものとする。全体を4期に分け、第1期は9月上旬に渋谷を中心に開催される東京コレクション(Rakuten Fashion Week Tokyo)の公式記録ビデオ撮影/制作と当日のライブ配信アシスタントを行う。また当日の各ショーの設営から本番までの運営次第も観察する。第2期は全国デザインコンテスト運営のアシスタントを行う。第3期は放送40年を越えたBSテレビ東京放送「ファッション通信」のポストプロダクションでの制作アシスタントを務める。第4期はプロの現場での経験を活かし、現役の映像ディレクター指導による課題作品のグループ制作を行う。

到達目標 (学修成果)

ファッションを中心とした映像制作会社での基本的なアシスタントプロデューサー、アシスタントディレクターやアシスタントカメラマンの業務と全国ファッションデザインコンテスト運営アシスタントを、OJT(On-the-Job Training)で経験把握し、学生本人にどの業務や職種に適性があるか自己判断ができるようになること。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

メディア表現専攻学生の卒業要件科目で、必修科目である。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

メール等を活用し、常時質問等を受け付ける。作品制作やレポートは提出毎に講評する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	20%

教科書

特になし

参考文献

その都度配布

オフィスアワー・研究室

外演習先企業担当者 (初日に説明します) (株)インファス・ドットコム事務所 研究室: 日野校舎B105映像・メディア表現研究室

備考

授業日以外の事前ガイダンスは必ず参加すること。スケジュール等を確認します。

Word、Excel、PowerPoint、Premier Proの基本操作ができること。

指導は各プロデューサーやディレクター、カメラマンが行う。なお第1期、第3期は各日6~10時間のフルタイム演習となる。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 角倉	東京コレクションのオリエンテーション。基本業務の流れの把握。スタッフ編成と総合進行表の理解 (六本木)	復習: 当日のスケジュール、業務内容を記録する	30分
2回 角倉	機材準備。機材の会場搬入、ケーブル敷設、機材セッティング。以下実地指導はINFAS.comスタッフ(六本木~渋谷)	復習: 機材の理解	30分
3回 角倉	東京コレクション当日。1日数回のファッションショーやイベントの撮影記録。ネット生配信運営。ショー運営の観察(渋谷)	復習: 当日の業務日誌と第1期のレポートの作成	30分
4回 角倉	東京コレクション当日。1日数回のファッションショーやイベントの撮影記録。ネット生配信運営。ショー運営の観察(渋谷)	復習: 当日の業務日誌と第1期のレポートの作成	30分
5回 角倉	東京コレクション当日。1日数回のファッションショーやイベントの撮影記録。ネット生配信運営。ショー運営の観察(渋谷)	復習: 当日の業務日誌と第1期のレポートの作成	30分
6回 角倉	東京コレクション当日。1日数回のファッションショーやイベントの撮影記録。ネット生配信運営。ショー運営の観察(渋谷)	復習: 当日の業務日誌と第1期のレポートの作成	30分
7回 角倉	東京コレクション当日。1日数回のファッションショーやイベントの撮影記録。ネット生配信運営。ショー運営の観察(渋谷)	復習: 当日の業務日誌と第1期のレポートの作成	30分
8回 角倉	東京コレクション当日。1日数回のファッションショーやイベントの撮影記録。ネット生配信運営。ショー運営の観察(渋谷)	復習: 当日の業務日誌と第1期のレポートの作成	30分
9回 千代崎	全国ファッションデザインコンテスト運営アシスタント事前モデルオーディション SUNデザイン研究所指導(目黒)	復習: 修得したことをまとめる 第2期のレポート作成	30分
10回 千代崎	全国ファッションデザインコンテスト運営アシスタント前日リハーサルなど SUNデザイン研究所指導(目黒)	復習: 修得したことをまとめる 第2期のレポート作成	30分
11回 千代崎	全国ファッションデザインコンテスト運営アシスタント当日 SUNデザイン研究所指導(目黒)	復習: 修得したことをまとめる 第2期のレポート作成	30分
12回 角倉	「ファッション通信」のオリエンテーション。ポストプロダクションにて映像編集。INFAS.comスタッフ指導(六本木)	復習: 修得したことをまとめる 第3期のレポート作成	30分
13回 角倉	ポストプロダクションにて再編集、音効打合せ、ナレーション原稿作成チェック。INFAS.comスタッフ指導(六本木)	復習: 修得したことをまとめる 第3期のレポート作成	30分
14回 角倉	ポストプロダクションにてMA、ナレーション、音楽録音。完パケ試写。INFAS.comスタッフ指導(六本木)	復習: 修得したことをまとめる 第3期のレポート作成	30分
15回 澤野	グループ制作 課題提示、企画立案討議、スタッフ編成、リサーチ、構成案作成 (日野校舎)	復習: 構成案作成、リサーチ	60分

服飾手芸（ニットを含む）

岡本 真希子

服飾表現学科 3年 前期又は後期 選択 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

編物の代表的な三つの技法 かぎ針編み、棒針編み、アフガン編みについて、基礎的な技法を習得します。それぞれの技法に合わせた、作品を作る為に必要な増減法、とじ、はぎ、素材の特徴に合った組み合わせや編み方を学び、作品作りに活かせるように学びます。

到達目標（学修成果）

かぎ針編み、棒針編み、アフガン編みの基礎技法を学び、編めるようになる。編目記号図（JIS記号）を理解する。かぎ針編みでは、モチーフを編む。棒針編みでは、身に着ける作品の制作を進めながら、制作に必要な知識を得る。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題として、かぎ針編みモチーフつなぎ、棒針編みの基礎編みサンプル、アフガン編みの基礎編みサンプル、を提出。添削後、順次返却します。

棒針編みの応用課題作品を提出

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

いちばんよくわかる新・かぎ編みの基礎 / いちばんよくわかる 新・棒針編みの基礎

いちばんよくわかる アフガン編みの本

参考文献

なし

オフィスアワー・研究室

連絡先：教務課 出講日：金曜日

備考

必要に応じてプリントを配布しますので、ファイリングをして常に授業に携帯して下さい。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 岡本	かぎ針編み：針の持ち方，基礎編み（鎖編み，細編み，長編み，等）	復習：その日に習った技法の復習（長編み，細編みが編めるように）	60分
2回 岡本	かぎ針編み：モチーフを作成	復習：その日に習った技法の復習 モチーフ1枚めを完成させる	60分
3回 岡本	かぎ針編み：モチーフをつなぐ	復習：その日に習った技法の復習 モチーフをつなぎ完成させる	60分
4回 岡本	棒針編み：針の持ち方，基礎編み（作り目，表編み，裏編み，伏せ目）	復習：その日に習った技法の復習（表編み，裏編みを練習する）	60分
5回 岡本	棒針編み：基礎編みのサンプル作成（編み込み模様2種類 等）	復習：その日に習った技法の復習 基礎編みのサンプルを編み進める	60分
6回 岡本	棒針編み：基礎編みのサンプル作成（表目と裏目の模様，透かし模様）	復習：その日に習った技法の復習 基礎編みのサンプルを編み進める	60分
7回 岡本	棒針編み：基礎編みのサンプル製作（交差模様，1目ゴム編み，2目ゴム編み 等）	復習：その日に習った技法の復習 基礎編みのサンプルを完成させる	60分
8回 岡本	棒針編み（応用課題作品）：作品制作に向けての説明 とじ・はぎをパターンで練習する	応用課題作品の制作に向けて何を考えるか考えてくる	60分
9回 岡本	アフガン編み：針の持ち方，基礎編み（ブレーンアフガン）	復習：その日に習った技法の復習 応用課題作品の制作に向けて準備する	60分
10回 岡本	アフガン編み：基礎編みのサンプル作成（かのご模様，ねじり目模様 等）	復習：その日に習った技法の復習 応用課題作品の制作に向けて準備する	60分
11回 岡本	棒針編み（応用課題作品）：作品制作に向けての相談	応用課題作品の制作を始める	90分
12回 岡本	棒針編み：応用課題作品を進めながら，提出した基礎編みサンプルの再確認 等	応用課題作品の制作を進める	90分
13回 岡本	棒針編み：応用課題作品を進めながら，提出した基礎編みサンプルの再確認 等	応用課題作品の制作を進める	90分
14回 岡本	棒針編み：応用課題作品 提出	復習：基礎編みサンプルの復習	60分
15回 岡本	まとめ：課題のフィードバックを行う	復習：基礎編みサンプルの復習，とじはぎ仕上げの復習	30分

リテールマーチャンダイジング

松澤 宏

服飾表現学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

- ・全てのリテールビジネスの基本であるマーチャンダイジングの概要理解を軸に、担当講師自身の27年の百貨店実務と商社勤務5年での経験に基づく知見を活かし具体例に触れながら、「販売計画」を構成する要素を体系的に学びます。
- ・通して受講することで、自身が考えるショップコンセプトや品揃え、ビジネスとしての捉え方を具体的にイメージ出来るようになり、様々な切り口からリテールビジネスの企画立案・計画実務に活かすことが出来るようになります。

到達目標(学修成果)

- ・リテールビジネスの基礎を習得し、あらゆる職種で自主的なショップ計画が出来る体系的な理解を目指す。
- ・マーチャンダイジング基礎理論の習得と、自身の自由な発想と独自性の発露。その双方をバランスよく学び、実践できるようになる「実学」を目指す。
- ・本科目ではグループワークを含むアクティブラーニングを実施する。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目で、あらゆるファッションビジネスで活躍出来る専門力の向上に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業内で発する課題について作成いただいた成果物を、授業終了後提出していただき、希望者に返却いたします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

指定教科書無し。毎回学習資料を配布いたします。授業は講師作成のパワーポイント教材による講義と各種演習となります。

参考文献

無し

オフィスアワー・研究室

月曜日 午前中 授業教室にて10:40~12:10まで

備考

無し

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 松澤	マーチャンダイジングとは ～リテールマーチャンダイジングの意味と目的	予習: シラバスの確認 復習: あなたがFBを通してやりたいこと	45分
2回 松澤	リテールの歴史とマーチャンダイジングの変遷 ～発展の歴史・市場を取り巻く環境変化・トレンドと未来	予習: マーケティングトレンドの想像 復習: 好きなファッションとその理由	30分
3回 松澤	グループディスカッション ～私の好きなお店・やってみたいお店・その理由	予習: 課題指示に従い事前構想記述 復習: 演習成果物の振り返り	75分
4回 松澤	グループ発表 ～私の好きなお店・やってみたいお店・その理由	予習: 発表内容の確認 復習: 演習成果物の振り返り	45分
5回 松澤	マーチャンダイジングの体系・その「誰に」 ～マーケティング戦略・顧客戦略・顧客分類・顧客満足	予習: 自分が狙いたい顧客像の想像 復習: 顧客設定項目の振り返り	45分
6回 松澤	顧客設定演習 ～ペルソナを決める	予習: 顧客設定項目の予習 復習: 演習の振り返り	30分
7回 松澤	マーチャンダイジングの体系・その「何を」 ～商品計画・商品分類と展開分類・商品量・価格	予習: 自分が商売したい商品の想像 復習: 基本設定項目の振り返り	45分
8回 松澤	マーチャンダイジングの体系・その「いつ」 ～期間区分・季節区分・シーズンMD計画	予習: 季節の区分を想像 復習: あなたが好きな季節とアイテム	30分
9回 松澤	マーチャンダイジングの体系・その「どこで」 ～チャネル・立地・場所・「どこで」の変化	予習: 馴染みの街の立地特性を想像 復習: 出店したい場所の立地を想像	30分
10回 松澤	マーチャンダイジングの体系・その「どのように-I」 ～購買意欲を高める場づくり・商空間特性・VMD	予習: 好きな店の空間特性を考察 復習: 作ってみたい商空間を想像	45分
11回 松澤	マーチャンダイジングの体系・その「どのように-II」 ～購買意欲を高める仕掛け・販売促進・メディア	予習: 好きな店の仕掛けを考察 復習: あなたがやってみたい媒体戦略	45分
12回 松澤	マーチャンダイジングの体系・その「なぜ」 ～自分の店の存在意義とその理由・現状分析・理念	予習: 好きな店の理念を考察 復習: 自分自身の理念を考察	45分
13回 松澤	マーチャンダイジングの体系・その「販売サービス」 ～販売サービスの構成・販売管理・販売行動・しくみの変化	予習: 自分が印象に残る接客を考察 復習: 実践したい販売サービスを想像	30分
14回 松澤	ストアプラン演習-I ～私のマーチャンダイジングコンセプト計画(個人ワーク)	予習: 課題指示に従い課題の事前構想 復習: 演習成果物の振り返り	75分
15回 松澤	ストアプラン演習-II ～私のマーチャンダイジングコンセプト計画(発表)	予習: 課題の事前構想 復習: 将来の自身の仕事の具体的想像	75分

ショップディスプレイ

石井 健太

服飾表現学科 3年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

講師の実際の仕事例を紹介しながら、ショップディスプレイ/デザイン/マーケティングの考え方を学んでゆく。

到達目標(学修成果)

ショップディスプレイとは企業戦略を視覚化する仕事。ショップの企画立案から実際の設計までを授業内で完成させる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目の単位で卒業要件となります。「ショップディスプレイ」は、空間演出の基礎力とビジネスの基礎知識の向上に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

毎授業終了時にレポート。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

なし

オフィスアワー・研究室

なし

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 石井	オリエンテーション	特になし	30分
2回 石井	VMDとショップディスプレイ	特になし	30分
3回 石井	ショップの原点の確認 モロッコ 明治日本 より	特になし	30分
4回 石井	ショップの原点の確認 アメリカ 昭和日本 より	特になし	30分
5回 石井	ショップの原点の確認 トルコ より	特になし	30分
6回 石井	世界の百貨店の成り立ちの確認 フランスより	特になし	30分
7回 石井	ショップの企画書作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
8回 石井	ショップの企画書作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
9回 石井	ショップの図面作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
10回 石井	ショップの図面作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
11回 石井	商品ディスプレイプランの作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
12回 石井	イメージパース作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
13回 石井	イメージパース作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
14回 石井	発表	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
15回 石井	発表 総評	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分

服飾クラフト

永田 貴恵子

服飾表現学科 3年 前期又は後期 選択 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

手芸 (Hand Craft) は、世界各地で古い昔から行われその土地の生活様式に合った特有の色や模様が作り出されて来ました。本授業では様々な刺しゅうの知識を深め、基礎となる刺しゅうの材料 (布・糸・針など) の扱い方や技法を学びます。

到達目標 (学修成果)

フランス刺しゅうやクロスステッチなど様々な刺しゅうを実際に作品を制作しながら基本的な技法が習得出来ます。基礎刺しの名称と刺し方を理解し正しく刺しゅうが出来ることを目標とします。
また、図案を構成し刺しゅう技法を組み合わせる応用力をつけることも目指します。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

選択科目で卒業要件科目となり、服飾造形の基礎力の向上に資する科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

作品返却時にその都度講評をします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

授業時に適宜プリントを配布します。

参考文献

なし

オフィスアワー・研究室

出講日：金曜日 連絡先：教務課

備考

別途教材費がかかります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 永田	様々な刺しゅうを知る 刺しゅう材料の取り扱い方 図案の写し方 フランス刺しゅう基礎の準備 サンプラーの制作	予習：シラバスを読む 復習：フランス刺しゅう基礎の確認	30分
2回 永田	フランス刺しゅう基礎 アウトラインS バッグS ランニングS チェーンS パリオンS等	復習：アウトラインS バッグS ランニングS チェーンS パリオンS等の確認	30分
3回 永田	フランス刺しゅう基礎 ブランケットS レイジーデージーS フレンチノットS サテンS等	復習：ブランケットS レイジーデージーS フレンチノット サテンS等の確認	30分
4回 永田	ビーズ・スパンコール刺しゅう ビーズ・スパンコール刺しゅうの基礎	復習：ビーズ・スパンコールの確認 予習：自由図案を考える	30分
5回 永田	ミラーワーク、リボン刺しゅう ミラーの留め方 リボン刺しゅうの基礎 自由図案による刺しゅうの制作	復習：ミラーの留め方、リボン刺しゅうの確認	30分
6回 永田	刺しゅうの応用制作 刺しゅうの仕上げ	復習：刺しゅう応用制作のステッチの確認	30分
7回 永田	クロスステッチ ピンクッションの制作 クロスステッチの基礎	復習：フランス刺しゅう基礎の整理 予習：クロスステッチの図案を考える	30分
8回 永田	クロスステッチ クロスステッチの針の動き方 糸の替え方 糸の始末の仕方	復習：クロスステッチの刺し方糸の替え方、糸の始末の仕方の確認	30分
9回 永田	クロスステッチ 仕立て方、とじ方	復習：クロスステッチの仕立て方、とじ方の確認	30分
10回 永田	クロスステッチ 仕上げ	復習：クロスステッチの基礎の整理	30分
11回 永田	スモッキング刺しゅう スモッキングバッグの制作 スモッキング刺しゅうの基礎	復習：スモッキング刺しゅう基礎の確認	30分
12回 永田	スモッキング刺しゅう ダイヤモンドSの刺し方	復習：ダイヤモンドSの確認	30分
13回 永田	スモッキング刺しゅう 糸の替え方、糸の始末の仕方。	復習：糸の替え方、糸の始末の確認	30分
14回 永田	スモッキング刺しゅう 仕上げ方	復習：スモッキング刺しゅうの整理	30分
15回 永田	授業で制作した作品の様々な刺しゅう基礎刺しの確認と刺しゅうの知識を整理する	復習：授業で制作した作品の様々な刺しゅう基礎刺しの確認を行う	30分

インターンシップ

笹部 小百合

服飾表現学科 3年 前期又は後期 選択 (2単位 実験実習)

授業の方針・概要

専門コースの選択により明確になった将来目標を踏まえ、これまでの学修成果を実社会で試し、自身の適性や能力を客観的に把握する機会とする。産学連携協定に基づく企業を含む専門分野関連企業においてインターンシップ(就労体験)を実施し、実務を体験・学修することで実務能力の向上を図る。企業で求められる資質や姿勢を理解し、卒業後の進路意識を高めるとともに、今後の学修への主体的な取り組みにつなげる。実務経験を基にした振り返り指導を行い、社会で活躍できる人材としての意識形成を目指す。

到達目標(学修成果)

学内授業では得られない就労体験を通して、社会人としての基礎的なマナーやビジネス姿勢を身に付ける。さらに、自身の適性を理解し、将来の進路選択や就職活動に生かすことのできる判断力と実践的能力を養うことを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は専門選択科目における卒業要件科目である。将来の就職および職業理解を深め、専門分野における実践的能力と社会適応力の修得を目的とする科目として位置付ける。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

研修日誌の提出内容に対する企業研修先からの講評、グループワークや課題、最終報告書および報告会に対する講評を行う。授業内での口頭指導に加え、メールおよび学内ポータルサイト等を活用してフィードバックを実施する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

社会人常識マナー検定テキスト 2・3級 株式会社エディプレス 清水書院

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示。

研究室：インダストリアルパターン研究室(第3校舎2階 3211)

備考

実務時期、期間：2・3年生夏休み(評価は前期少し遅れて反映)または2・3年生春休み(評価は後期少し遅れて反映)で10日以上~12日以内。研修内容、地域：企業により異なる。地域は主に首都圏および各県。成績評価：事前授業や事後報告10%、研修日誌や報告書20%、報告会プレゼン20%、企業での就労態度や実務評価50%

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 1回	オリエンテーション：カリキュラムとスケジュール、目的、内容説明、研修について、履歴書の書き方(グループワーク)	予習：企業や研修先について研究する 自己紹介を考える	90分
2回 2回	面談：研修先企業や職種についての面談及び自己表現・履歴書作成	予習：履歴書を作成する	60分
3回 3回	事前授業：研修の心得とマナー等について	復習：講義について振り返る	30分
4回 4回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
5回 5回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
6回 6回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
7回 7回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
8回 8回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
9回 9回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
10回 10回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
11回 11回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
12回 12回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
13回 13回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
14回 14回	事後授業：企業研修の振り返り(グループワーク) 報告会に向けてのプレゼンテーション資料準備	復習：報告書作成と報告会に向けての準備	90分
15回 15回	事後報告：報告書、研修日誌の提出と報告会でのプレゼンテーション(学修成果と得られた技術を含む)および講評	復習：報告会での講評を振り返り、今後の学修に役立てる	30分

民族衣装論

梅谷 知世

服飾表現学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

世界各地の民族服飾は、それぞれの自然環境や文化環境の中で生まれ、時代とともに変化しながら今日に受け継がれてきました。本授業では、アジアを中心に、アメリカやヨーロッパのさまざまな地域の民族服飾を取り上げます。人びとの手仕事によって生み出されてきた民族服飾の形態、素材、織り・染め・刺繍などの技法、文様について学ぶとともに、それらがどのような背景のもとで成立し、変化してきたのか、そして民族服飾が民族にとってどのような意味をもつのかを、気候風土や暮らし、信仰、異文化交流など多様な視点から捉えていきます。

到達目標(学修成果)

- ・民族服飾と自然環境・文化環境との関係性、ならびに民族服飾の意味について理解する。
- ・その特徴が、近代化やグローバル化の中でどのような状況にあるのかを理解する。
- ・民族服飾を通して異文化への関心を深め、自らとは異なる価値観を理解し尊重する姿勢を身につける。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業認定科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業内課題について、次回授業時にフィードバックを行います。授業内容についての質問や相談には随時対応します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

使用しません。授業の進行にあわせてプリントを配布します。

参考文献

国立民族学博物館編『国立民族学博物館展示案内』(2017)
その他の参考文献は授業中に紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

備考

世界各地の民族に関心を持ち、新聞やインターネットの報道に注意するようにしてください。
美術館や博物館に足を運び、民族服飾の実物を見学する機会を持つよう心がけてください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 梅谷	民族服飾とは何か	予習：シラバスを読み授業内容を理解する。	30分
2回 梅谷	民族服飾を学ぶ視点	予習：参考文献を図書館で確認する。	90分
3回 梅谷	アメリカの民族服飾(グアテマラ・マヤ民族)	予習：グアテマラの気候風土とマヤ民族の歴史について調べる。	90分
4回 梅谷	東アジアの民族服飾(中国・旗袍)	予習：近代中国の歴史について調べる。	90分
5回 梅谷	東アジアの民族服飾(中国・少数民族)	予習：中国の少数民族の居住地域を確認する。	90分
6回 梅谷	博物館見学	復習：博物館見学のレポートを作成する	90分
7回 梅谷	東アジアの民族服飾(アイヌ)	予習：アイヌ民族の歴史について調べる。	90分
8回 梅谷	東アジアの民族服飾(琉球)	予習：琉球王国と近現代沖縄の歴史について調べる。	90分
9回 梅谷	東南アジアの民族服飾(ラオス)	予習：ラオスの気候風土と歴史について調べる。	90分
10回 梅谷	南アジアの民族服飾(インド)	予習：インドの気候風土と歴史・宗教について調べる。	90分
11回 梅谷	南アジアの民族服飾(インド西部)	予習：インド西部の気候風土について調べる	90分
12回 梅谷	西アジアの民族服飾(サウジアラビアなど)	予習：西アジアの気候風土と宗教について調べる。	90分
13回 梅谷	ヨーロッパの民族服飾(スコットランド)	予習：スコットランドの気候風土と歴史について調べる。	90分
14回 梅谷	ヨーロッパの民族服飾(東欧)	予習：ブルガリアとルーマニアの気候風土と歴史について調べる。	90分
15回 梅谷	民族服飾の継承とその可能性 - ディスカッション -	復習：これまでの授業内容を振り返り十分理解する。	90分

染織史

大久保 尚子

服飾表現学科 3年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

日本の染織技法の種類と歴史的展開を、意匠との関係、海外との影響関係にも注目して学習します。各時代に特徴的な染織意匠を文化的背景とともに紹介します。映像資料と実物資料を提示し技法、意匠の特色を体験的に学習し、展覧会見学を通し知識に基づく作品理解を深めます。

到達目標(学修成果)

- ・歴史上にみられる染織技法について、技法による表現効果の違い、意匠との関係に注目して理解し、自ら具体的な作品例をとりあげ技法と意匠の特徴について説明できる。
- ・意匠と同時代文化との関係について理解を深め、授業で示した資料を活用し説明することができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。また、学芸員資格取得のための学芸員課程必修科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業時の課題やレポート提出等に学内システムを活用します。博物館見学時の連絡等にメールを使用する場合があるため担当者のアドレスを授業時にお知らせします。課題等のフィードバックは基本的に授業の中で行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

教科書は用いず、配布資料プリントによって授業を進めます。

参考文献

小笠原小枝『染と織の鑑賞基礎知識』至文堂1998年、河上繁樹、藤井健三『織りと染めの歴史』昭和堂1999年 その他授業の中で示します。

オフィスアワー・研究室

前期：なし 連絡先：本校舎一階教務課 後期 授業のある日(14時~14時30分)第3校舎講師控え室

備考

博物館見学の実施回は、状況により変更する場合があります。詳細は授業時に指示します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 大久保	染織(テキスタイル)の歴史と現代の服飾の関係(ディスカッション)/手仕事と機械工業/「織り」の技法「染め」の技法	予習：シラバスを読む。復習：授業時に示す復習課題に取り組む	30分
2回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 織の技法 天然素材による糸、織機の仕組み 織物の基本組織	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
3回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 織りの技法 綾、羅、錦 /正倉院の染織品にみる唐風の受容	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
4回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 織の技法 縫い取り織(二陪織物、唐織)、縺子織(緞子、綸子)/有職織物と名物裂	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
5回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 織の技法 綴れ、縞	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
6回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 織の技法 絁 /近世における外来染織の受容	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
7回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 天然染料の染色/ 染めの技法 描絵、摺絵、絞り染め/ 江戸時代小袖の復元	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
8回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 染めの技法 蠟防染(臈縵、更紗)、手描き糊防染 友禅染め/更紗のグローバルな影響	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
9回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 博物館見学 染織作品の実地見学	予習：展示資料情報、特に技法について確認。復習：見学レポートに取り組む。	40分
10回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 博物館見学 染織作品の実地見学。質疑応答と見学レポート	予習：展示資料情報、特に技法について確認。復習：見学レポートに取り組む。	40分
11回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 染めの技法 型の使用 板締め、型紙による糊防染(小紋、中形)、型紙による摺込染め	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
12回 大久保	伊勢型紙/ジャポニズムと型紙/ 日本の染織技法の種類と歴史 まとめ:日本の染織の歴史展開/技法と意匠の関係	予習：これまでの資料に再度目を通す。復習：課題に取り組む。	30分
13回 大久保	染織技術の近代化/ 伝統染織の継承:文化としての保護、産業	予習：これまでの資料に再度目を通す。復習：課題に取り組む。	30分
14回 大久保	近代の染織と意匠 近世の意匠創案の近代への波及 光琳文	予習：配布資料指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
15回 大久保	近代の染織と意匠 染織技術革新と意匠・ジャポニズムとヨーロッパのデザイン運動・日本のデザイン運動 全体まとめ	予習：配布資料指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分

ファッションプレゼンテーション演習

児島 やよい

服飾表現学科 3年 前期 選択 (2単位 演習)

授業の方針・概要

授業担当者の約30年に渡る現代美術やデザインをカバーするキュレーター、ライターとしての実務経験を踏まえて、美術館、ギャラリーや多様な展示施設での多ジャンルの展覧会の実例を提示、見学、解説します。見学の際には担当学芸員やアーティストなどとも対話する機会を設ける予定です。それに基づきグループワークやディスカッションを行い、創造に活かす視点を学びます。各自で、及びグループワークで展覧会企画を構想、プレゼンする演習により、説得力のある企画、プレゼンテーションの方法を身に付けることを目指します。

到達目標(学修成果)

展覧会や関連プログラムのリサーチから企画、実施までの過程を知り、展示によっていかに新鮮な主張を発信するかを学ぶ。実務を知り、多様な展覧会を見学・考察することで、「展覧会を企画」する基本的なプロセスを理解する。キュレーターとしての構想力、研究・分析の成果から新たな視点を活かし具体化する体験を通して、ファッションの分野につながる企画、プレゼンテーションの方法を身に付ける。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。また、学芸員資格取得のための学芸員課程の必修科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

学内システムによりレポート課題及びプレゼン課題についてポイントを解説する。今後の課題、次回見学、授業の内容を掲示する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

特に指定しない

参考文献

授業時に指示する

オフィスアワー・研究室

欠席・遅刻の連絡、授業についての質問等はメール、学内システムにて随時受け付ける。その他必要な場合は教務部まで。

備考

成績について 中間及び期末課題提出・プレゼン 展覧会見学レポート(全10本程度) 授業姿勢・参加度の順に重要視します。展覧会見学への参加が必須となり、学期を通して入館料と交通費がかかります(全部で6千円程度の予定。入館料の負担は極力少なくします)。止むを得ず見学を欠席する場合は代替の課題を出すので必ず相談して下さい。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 児島	オリエンテーション 授業計画 中間、期末課題について 展覧会見学について。各自小レポート発表。	予習: これまで鑑賞した展覧会について興味のあるテーマについて考えをまとめておく。	30分
2回 児島	「展覧会というプレゼンテーション」。展覧会見学	復習: 展覧会見学レポートを書く	60分
3回 児島	「展覧会の企画から実施まで」。展覧会見学	復習: 展覧会見学レポートを書く	60分
4回 児島	「ファッションの展覧会、プレゼンテーションの実例」。展覧会見学	復習: 展覧会見学レポートを書く	60分
5回 児島	「さまざまな展示の手法、最新の傾向について」。展覧会見学	復習: 展覧会見学レポートを書く	60分
6回 児島	「企画書を書く」。展覧会見学	復習: 展覧会見学レポートを書く	60分
7回 児島	中間課題プレゼン(各自で展覧会を構想・企画、プレゼン)の準備。	復習: 中間課題プレゼンを仕上げる。	90分
8回 児島	中間課題プレゼンと講評。展覧会見学	復習: 展覧会見学レポートを書く	60分
9回 児島	期末課題プレゼン(グループワーク)に向けてディスカッション。	復習: 期末課題プレゼンの準備。	60分
10回 児島	「展覧会をめぐる教育・関連イベント、広報などのプログラム」。展覧会見学	復習: 展覧会見学レポートを書く	60分
11回 児島	「企画の意義、説得力について考える」。展覧会見学	復習: 展覧会見学レポートを書く。期末課題プレゼンの中間発表を準備。	60分
12回 児島	期末課題プレゼン(グループワーク)の中間発表。展覧会見学	復習: 展覧会見学レポートを書く	60分
13回 児島	「ファッションとプレゼンテーション」。展覧会見学	復習: 展覧会見学レポートを書く。期末課題プレゼンを仕上げる。	90分
14回 児島	期末課題プレゼン(グループワーク)。講評、ディスカッション。展覧会見学	復習: 展覧会見学レポートを書く	60分
15回 児島	「展覧会見学を通して学んだこと、発見、気づきについて」。ディスカッション。学期まとめ。	復習: 各自、学期のまとめ	60分

食物学 (食品学)

外川 恵

服飾表現学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

本授業では、日常的に利用されている食品について、栄養素の供給源としての性質、嗜好(おいしさ)に関わる特徴、健康の保持・増進に関わる機能的側面を総合的に理解することを目的とする。あわせて、食品の加工・調理による栄養成分や性状の変化、安全性、食品表示・栄養成分表示、栄養や保健機能に関する食品表示等に関する基礎知識についても学ぶ。加えて、食料自給率や環境への配慮といった食に関わる社会的課題との関連を理解し、食品選択に必要な情報を適切に読み解く力を養う。

到達目標(学修成果)

1. 食品の栄養素等の特徴、加工・調理による性状の変化を理解し、説明することができる。
2. 食品の安全性や食品表示・栄養成分表示、栄養や保健機能に関する食品表示等を活用し、適切な食品選択ができる。
3. 食と社会的課題との関わりを理解し、食生活で実践できる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業認定における専門選択単位(ライフスタイル関係)であり、学位授与の方針として、専門コースに関わらず選択することが可能である。また、教員免許取得のための教職課程必修科目である。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

各講義のはじめに前回ワークシートの回答や解説を通して内容の振り返りを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

「新食品成分表FOODS」編者 新食品成分表編集委員会 東京法令出版株式会社

* 最新版を用意すること

参考文献

随時紹介する。

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回授業にて連絡する。調理研究室：第3校舎

備考

実践栄養学を履修していることが望ましい。

課題やワークシートの作成にChatGPTなどの生成系AIやWikipedia等の文章等を(ほとんど)そのまま用いることは認めない。各回の教員の指示を受けて作成すること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 外川	食と社会環境：日本の食生活の変化，日本の食料事情，日本食品標準成分表	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
2回 外川	食品の分類と特徴：植物性食品 穀類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
3回 外川	食品の分類と特徴：植物性食品 いも及びでん粉類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
4回 外川	食品の分類と特徴：植物性食品 野菜類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
5回 外川	食品の分類と特徴：植物性食品 野菜類，果実類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
6回 外川	食品の分類と特徴：植物性食品 豆類，種実類，きのこ類，藻類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
7回 外川	食品の分類と特徴：動物性食品 魚介類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
8回 外川	食品の分類と特徴：動物性食品 肉類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
9回 外川	食品の分類と特徴：動物性食品 卵類，乳類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
10回 外川	食品の分類と特徴：嗜好飲料，調味料，油脂類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
11回 外川	食品の安全と選択：食品表示・栄養成分表示	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
12回 外川	食品の安全と選択：食品表示・栄養成分表示，栄養や保健機能に関する食品表示	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
13回 外川	食品の安全と選択：食中毒，安全性を確保する制度	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
14回 外川	おいしさを形成する要因，調理の意義，環境への配慮	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
15回 外川	授業内試験とまとめ	事前学習：これまでの授業内容を確認する 事後学習：試験内容を振り返る	45分

住居学

萬羽 郁子

服飾表現学科 3年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

住居学に関する基礎的知識の習得を目指し、まず、住居の役割や機能に説明する。次に、住居の歴史の変遷について概説し、間取り・生活の変化や室内環境について学習する。後半には、住まいの安全や住まいの計画（製図を含む）について学習し、健康・快適・安全な住まいについてまとめる。

到達目標（学修成果）

人間生活の器である住居の役割を理解し、住生活に関して居住者として必要な基礎的知識を身につける。住居の役割と機能、住居の歴史の変遷と生活の変化、室内の環境整備の必要性や維持管理方法について理解する。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件については、専門選択科目の単位であり、教員免許状取得のための教職課程必修科目である。ディプロマポリシー（学位授与の方針）については、「住居学」は専門コースに拘らず選択することができ、専門力向上に資する科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

質問等はメールで対応します。振り取りテストは解説等をフィードバックします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

授業時に指示する。

参考文献

授業中に紹介します。

オフィスアワー・研究室

前期：なし 後期：土曜日 第3校舎講師控室（第3校舎1階）

備考

2コマ連続（7・8限と9・10限）や一部をオンデマンド形式で行う場合があります。詳細は初回授業で説明します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 萬羽	オリエンテーション：住居とは、授業計画 住居の役割と機能（グループワーク）	予習：シラバスを読む。中・高家庭科教科書の関連内容を確認する。	30分
2回 萬羽	気候風土と住まい（プレゼンテーション）	予習：日本・世界の住まいについて調べる。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
3回 萬羽	住宅・住生活の変遷：古代～中世	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
4回 萬羽	住宅・住生活の変遷：近世の住宅（グループワーク）	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
5回 萬羽	住宅・住生活の変遷：近代～現代	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
6回 萬羽	環境と住生活：温熱環境	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
7回 萬羽	環境と住生活：空気・音・光環境	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
8回 萬羽	住まいの安全：高齢者を取り巻く環境・バリアフリー	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：自宅バリアフリー調査をする。	90分
9回 萬羽	住まいの安全：家庭内事故の予防・ユニバーサルデザイン	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
10回 萬羽	住まいの安全：防災	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
11回 萬羽	住まいの選択と管理	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：住宅の選択に関する課題に取り組む。	90分
12回 萬羽	住まいの計画：平面図	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：製図課題の続きを行う。	90分
13回 萬羽	住まいの計画：家具配置	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：家具配置課題の続きを行う。	90分
14回 萬羽	住まいの計画（プレゼンテーション）	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
15回 萬羽	まとめと振り返り（小テスト・レポート）	予習：これまでの学習内容を確認する。 復習：振り返りレポートを作成する。	90分

保育学

川崎 理香

服飾表現学科 3年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

保育学においては、子どもの発達や子どもの他者への関わりについて、担当教員の幼稚園教諭・保育士の実務経験から具体例を聞き、幼児理解の姿勢を学ぶ。また知識だけでなく、自らが活動を体験することにより保育技術の向上を目指し、グループワークやプレゼンテーションによる学び合いによって保育者の役割や子どもへの理解を一層広げたり深めたりする。

到達目標（学修成果）

- ・乳幼児期の発達を理解できるようになる。
- ・乳幼児期の子どもたちが、出会う身近な存在である人的環境や物的環境との関わりを知ることができる。
- ・教材研究を通して子ども理解を深めることができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件については、専門選択科目の単位となる。ディプロマポリシー（学位授与の方針）については、「保育学」は専門コースに拘らず選択することが出来、社会基礎力の向上に資する科目である。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業のはじめに前回の授業の振り返りを行う。授業の終わりに振り返りシートを記入し、授業内容の理解の深まりを確認する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

毎回レジュメを配布する。

参考文献

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育、保育保育要領の各解説書

オフィスアワー・研究室

前期：なし 連絡先：本校舎1階教務課
後期：土曜日（9時00分～10時40分）本校舎1階教務課

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 川崎	オリエンテーション 保育とは何か	予習：シラバスを読む。保育とは何かについて自分なりに考えをまとめる	30分
2回 川崎	乳児の発達の姿と保育	予習：子どもが誕生してから乳児期の発達について調べる	30分
3回 川崎	3～5歳児の成長・発達と保育	予習：幼児期の成長・発達について調べる	30分
4回 川崎	保育者の役割	予習：保育者についてのイメージや役割について考えをまとめる	30分
5回 川崎	5領域の目標とねらい・内容 幼児教育施設の違いについて	予習：子どもの育ちの側面からとらえた5領域について調べる	30分
6回 川崎	遊びを通しての総合的な指導	予習：子どもにとって遊びとはどのような意味を持つのか考えをまとめる	30分
7回 川崎	環境を通して行う保育・教育	予習：社会の状況に応じて変化してきた子どもを取り巻く環境について考える	30分
8回 川崎	一人一人の発達に応じた指導	予習：「個」と「集団」の関係をどのように捉えたらよいのか考える	30分
9回 川崎	同じ遊びの目的や課題を持つ友達が協力して展開する活動	予習：課題について教材研究しておく	30分
10回 川崎	同じ遊びの目的や課題を持つ友達が協力して展開する活動	予習：課題について教材研究しておく	30分
11回 川崎	教材研究 「模擬保育」の展開を考える...グループ協議	予習：模擬保育に応じた教材準備、役割分担、練習をする	30分
12回 川崎	教材研究 「模擬保育」の展開を考える...グループ協議	予習：模擬保育に応じた教材準備、役割分担、練習をする	30分
13回 川崎	教材研究 「模擬保育」...グループ発表・評価・反省	予習：模擬保育の発表が出来るように練習しておく	30分
14回 川崎	事例研究 保育者の援助を考える まとめ	予習：保育者の具体的な役割を事例について分析・考察しておく	30分
15回 川崎	授業内試験	予習：14回目までの授業の内容の確認	30分

食文化論

外川 恵

服飾表現学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

本授業では、食および食に関する生活様式を、歴史的・文化的・社会的視点からとらえ、多角的に学ぶ。日本の食と食文化の成り立ち、特徴を理解した上で、他国や異なる文化にみられる食文化や食習慣について学び、食文化の多様性への理解を深める。また、人や社会にとっての食の役割を理解した上で、主体的に食文化を次世代へ継承していく力を養う。

到達目標 (学修成果)

1. 日本の食文化の成り立ち、特徴を理解し、食文化を継承する役割を担うことができる。
2. 他国、他宗教等の食文化の特徴、多様な価値観を受け入れ、尊重することができる。
3. 人や社会にとっての食と食文化の関わりを理解し、食生活で実践できる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業認定における専門選択単位 (ライフスタイル関係) であり、学位授与の方針として、専門コースに関わらず選択することが可能である。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

各講義のはじめに前回ワークシートの回答や解説を通して内容の振り返りを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題 (プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題 (プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

適宜資料を配布する。

参考文献

日本の食文化 「和食」の継承と食育 (新版) 編著者 江原絢子・石川尚子 アイ・ケイ・コーポレーション

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回の授業で連絡する。調理研究室：第3校舎 3002

備考

課題やワークシートの作成にChatGPTなどの生成系AIやWikipedia等の文章等を (ほとんど) そのまま用いることは認めない。各回の教員の指示を受けて作成すること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 外川	食生活と文化：個人にとっての食と食文化 共食	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
2回 外川	食生活と文化：社会にとっての食と食文化 食育	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
3回 外川	日本の食と食文化：和食，郷土料理	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
4回 外川	日本の食と食文化：行事食，儀礼食	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
5回 外川	日本の食と食文化：日本の食の成り立ち	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
6回 外川	日本の食と食文化：日本料理の料理形式	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
7回 外川	日本の食と食文化：食器，菓子	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
8回 外川	日本と他国，多文化の違い：食事様式，食具	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
9回 外川	世界の食と食文化：フランス	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
10回 外川	世界の食と食文化：フランス	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
11回 外川	世界の食と食文化：中国	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
12回 外川	世界の食と食文化：韓国，世界各国の食，食育	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
13回 外川	食の禁忌と忌避：宗教と食文化	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
14回 外川	食の禁忌と忌避：多様な価値観と食文化	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
15回 外川	授業内試験およびまとめ	事前学習：これまでの学習を確認する 事後学習：試験内容を振り返る	45分

食物学 (調理実習・実験)

外川 恵

服飾表現学科 3年 前期 選択 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

調理の基本操作を科学的にとらえ、食品の特徴を活かす方法を学び、調理技術を習得する。理論や技術を日常食に応用させ、自身の食生活に活かす。さらに、日常食の調理方法やその要点を他者へ伝える力を養う。なお、本実習は食品、教材を購入するために実習費を別途徴収する。

到達目標 (学修成果)

1. 食品の調理性および調理手法の特徴を科学的に理解し、調理の基本操作、包丁操作ができる。
2. 健康面、嗜好等に配慮して日常食を調理し、その内容を他者へ伝達することができる。
3. 教員免許取得者においては、安全で科学的な調理実習が運営できる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業認定における専門選択単位 (ライフスタイル関係) であり、学位授与の方針として、専門コースに関わらず選択することが可能である。また、教員免許取得のための教職課程必修科目である。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

各実習のはじめに前回ワークシートの解説を通して内容の振り返りを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題 (プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題 (プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

「調理学実習-基礎から応用」第9版 編著者 高橋敦子/安原安代/松田康子 女子栄養大学出版社

参考文献

「NEW 調理と理論 第二版」著者 山崎清子/島田キミエ/渋谷祥子ほか 同文書院

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回の授業で連絡する。調理研究室：第3校舎 3002調理実習室内

備考

食物アレルギーがある場合は事前に教員に相談すること。エプロン、三角巾、マスク、手拭き、内履きを持参すること。実践栄養学を履修していることが望ましい。実習台の都合上、履修者数の制限を行う場合がある。その場合は、教職履修者を優先的に受け入れることとする。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 外川	オリエンテーション, 食品の計量, 調味料の容量と重量, 日本茶の淹れ方	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	45分
2回 外川	だしの取り方, 米の調理 (炊く), 切り方の基礎	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	60分
3回 外川	調理学実験と日常食: 卵類	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	60分
4回 外川	調理学実験と日常食: 野菜 その他の野菜類 (淡色野菜)	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	60分
5回 外川	調理学実験と日常食: 野菜 緑黄色野菜類	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	60分
6回 外川	調理学実験と日常食: いも類	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	60分
7回 外川	調理学実験と日常食: 豆類	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	60分
8回 外川	調理学実験と日常食: ゲル化剤	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	60分
9回 外川	調理学実験と日常食: 乳類・小麦粉類	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	60分
10回 外川	調理学実験と日常食: 小麦粉類	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	60分
11回 外川	調理学実験と日常食: 魚類	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	60分
12回 外川	調理学実験と日常食: 肉類	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	60分
13回 外川	調理学実験と日常食: ひき肉	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	60分
14回 外川	調理学実験と日常食: 魚類, 肉類	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	60分
15回 外川	筆記・実技試験	事前学習: これまでの授業内容を確認する 事後学習: 試験内容を復習する	60分

食物学 (調理実習・実験)

外川 恵

服飾表現学科 3年 後期 選択 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

調理の基本操作を科学的にとらえ、調理技術を習得し、対象者や目的に合わせた日常食・行事食の調理に応用させる。日常食の調理方法やその要点を他者へ伝える力および他の料理へ応用させる力を養う。なお、本実習は食品、教材を購入するために実習費を別途徴収する。

到達目標 (学修成果)

1. 調理の特徴を理解し、その調理操作および包丁操作ができる。
2. 目的に応じた日常食および行事食の調理をすることができる。
3. 対象者に合わせて、日常食の調理方法や要点、応用した料理を伝達することができる。
4. 教員免許取得者においては、安全で科学的かつ日常生活に応用可能な調理実習が運営できる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業認定における専門選択単位 (ライフスタイル関係) であり、学位授与の方針として、専門コースに関わらず選択することが可能である。また、教員免許取得のための教職課程必修科目である。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

各実習のはじめに前回ワークシートの解説を通して内容の振り返りを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題 (プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題 (プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

「調理学実習-基礎から応用」第9版 編著者 高橋敦子/安原安代/松田康子 女子栄養大学出版社

参考文献

「NEW 調理と理論 第二版」著者 山崎清子/島田キミエ/渋谷祥子ほか 同文書院

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回の授業で連絡する。調理研究室：第3校舎 3002調理実習室内

備考

食物アレルギー等がある場合は事前に教員に相談すること。エプロン、三角巾、マスク、手拭き、内履きを持参すること。実践栄養学、食品学、食物学 (調理学実習・実験) を履修していることが望ましい。実習台の都合上、履修者数の制限を行う場合がある。その場合は、教職履修者を優先的に受け入れることとする。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 外川	オリエンテーション：調味料と調味パーセント 応用調理：和食献立	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	45分
2回 外川	調理法からのアプローチ：汁、減塩の工夫	事前学習：自身の朝食をふりかえる 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
3回 外川	調理法からのアプローチ：煮る	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
4回 外川	調理法からのアプローチ：炒める	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
5回 外川	調理法からのアプローチ：焼く	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
6回 外川	調理法からのアプローチ：揚げる	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
7回 外川	調理法からのアプローチ：魚をおろす	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
8回 外川	調理法からのアプローチ：蒸す	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
9回 外川	応用調理：和風献立	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
10回 外川	応用調理：弁当	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
11回 外川	応用調理：行事食 (クリスマス料理)	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
12回 外川	応用調理：行事食 (正月料理)	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
13回 外川	応用調理：洋風料理	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
14回 外川	応用調理：中国料理	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
15回 外川	筆記・実技試験	事前学習：これまでの授業内容を確認する 事後学習：試験内容を復習する	60分

日本語表現

伊藤 高広

服飾表現学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

本学留学生が、大学生レベルの文章力をつけるための授業です。
短文からはじめて、短い文章を書けるまでの練習をする
翻訳ソフトを活用しながらでも、ある程度のまとまった分量の文章を書く

到達目標(学修成果)

正確な日本語で短文を書けるようになる
論文を書くための基礎を身につける

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

外国人留学生の卒業要件科目で、教養必修科目です
社会・文化の相互理解に資する科目です

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

毎回ごとに課題を添削します

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

改訂版 大学・大学院留学生の日本語 作文編 (アルク)

参考文献

必要に応じて指示する

オフィスアワー・研究室

最初の授業時に指示する
文章表現研究室(研究棟1階)

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 伊藤	授業の方針・概要	予習 シラバスを読んでおく	30分
2回 伊藤	作文の基本 表記 短文をつくる	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
3回 伊藤	作文の基本 書きことば 短文をつくる	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
4回 伊藤	作文の基本 表記・書きことばの練習(確認) 短文をつくる	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
5回 伊藤	作文の基本 段落 短い作文	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
6回 伊藤	作文の基本 段落(確認) 短い作文	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
7回 伊藤	作文の基本 主語になることば 短い作文	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
8回 伊藤	作文の基本 文の構成 短い作文	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
9回 伊藤	作文の基本 文の構成(確認) 短い作文	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
10回 伊藤	小まとめ 確認と作文	復習 自分の苦手なところを確認する	60分
11回 伊藤	レポートに必要な表現	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
12回 伊藤	レポートに必要な表現	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
13回 伊藤	レポートに必要な表現	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
14回 伊藤	レポートに必要な表現	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
15回 伊藤	前期のまとめ 段落構成のある作文	復習 自分の苦手なところを確認する	60分

日本語表現

伊藤 高広

服飾表現学科 3年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

日本語表現 に引き続き、本学留学生が、大学生レベルの文章力をつけるための授業です。
 前期で学習した表現の練習をくりかえし行います
 後期は日本の生活文化の講義も兼ねます 講義内容を文章にまとめたりします
 翻訳ソフトを活用しながらでもよいので、ある程度のまとまった分量の文章を書きます

到達目標(学修成果)

正確な日本語でレポートを書けるようになる
 論文を書くための基礎を身につける

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

外国人留学生の卒業要件科目で、教養必修科目です
 社会・文化の相互理解に資する科目です

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

毎回ごとに課題を添削します

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

前期と同じ

参考文献

必要に応じて指示する

オフィスアワー・研究室

最初の授業時に指示する
 文章表現研究室(研究棟1階)

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 伊藤	後期授業の概要	予習 シラバスを読んでおく	30分
2回 伊藤	説明文を書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
3回 伊藤	説明文を書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
4回 伊藤	意見文を書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
5回 伊藤	意見文を書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
6回 伊藤	比較しながら書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
7回 伊藤	比較しながら書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
8回 伊藤	資料の使い方を練習する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
9回 伊藤	資料の使い方を練習する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
10回 伊藤	引用しながら書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
11回 伊藤	引用しながら書く	復習 自分の苦手なところを確認する	60分
12回 伊藤	総合的な作文の練習	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
13回 伊藤	総合的な作文の練習	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
14回 伊藤	総合的な作文の練習	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
15回 伊藤	まとめ	復習 自分の苦手なところを確認する	60分

日本語

宮下 利江、錢 陶緯

服飾表現学科 3年 前期 選択必修 (4単位 講義)

授業の方針・概要

大学で学ぶために必要な日本語力を習得する。話す活動を中心とした授業を行うので、積極的に予習と復習をすることを求める。日本語Iに関しては、初級文法の復習定着及びその運用能力の向上を目指す。また、読解と対話のタスクを通じて、日本語力を高めると同時にテーマについての理解力と思考力を養成する。

到達目標 (学修成果)

初級文法・語彙表現を復習し定着を図りながら講義や発表を理解する力を高める。習得した文法事項を使い、自分の意見をまとめ、発表やディスカッションができるようになる。また、服飾に関連する専門用語についても、授業で理解し使えるよう確認の機会を適宜入れる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目の中の外国語選択必須科目で、また、グローバル人材としての日本語による円滑なコミュニケーション能力を養い、異文化理解力、豊かな感性、表現力を涵養することを目指している。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

通常の授業内で返却・解説します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

『JLPT文法N3ポイント&プラクティス』著者：斎藤明子・田川麻央・森田亮子 等 出版社：スリーエーネットワーク

『話す・書くにつながる！日本語読解(中級)』著者：小野恵久子、遠藤千鶴、大久保伸枝、山中みどり 出版社：アルク

参考文献

必要に応じて提示します。

オフィスアワー・研究室

第1回の授業で説明します。

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	ガイダンス 【語彙・文法知識】スポーツクラブに入会する。専門用語	【予習】シラバスを読む。	30分
2回 各自	【語彙・文法知識】友達をお花見に誘う。専門用語 【読解・対話】1課「10代のうちに考えておくこと」	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
3回 各自	【語彙・文法知識】友達とお花見を計画する。専門用語 【対話】1課「10代のうちに考えておくこと」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
4回 各自	【語彙・文法知識】電車が遅れる。専門用語 【読解・対話】2課「草は生きているか」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
5回 各自	【語彙・文法知識】これは雑誌の占いだ 専門用語 【読解・対話】2課「草は生きているか」	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
6回 各自	【語彙・文法知識】留学した理由を話す。専門用語 【読解・対話】3課「仕事選び」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
7回 各自	【語彙・文法知識】インターネットでの買い物。専門用語 【読解・対話】3課「仕事選び」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
8回 各自	【語彙・文法知識】カメラを修理に出します。専門用語 【読解・対話】4課「障がいと私」	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
9回 各自	【語彙・文法知識】カジュアルな表現と敬語。専門用語 【読解・対話】4課「障がいと私」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
10回 各自	【語彙・文法知識】友達に授業のお願いをする。専門用語 【読解・対話】5課「フィンランドの学校で」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
11回 各自	【語彙・文法知識】友達を相撲に誘う。専門用語 【読解・対話】5課「フィンランドの学校で」	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
12回 各自	【語彙・文法知識】レトルトカレーを温める。専門用語 【読解・対話】6課「マニュアル社会」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
13回 各自	【語彙・文法知識】職場で休みの希望を言う。専門用語 【読解・対話】6課「マニュアル社会」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
14回 各自	【語彙・文法知識】台風の準備をする。専門用語 【期末試験の説明・復習】	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
15回 各自	期末試験	【予習】期末試験の準備	90分

日本語

宮下 利江、錢 陶緯

服飾表現学科 3年 後期 選択必修 (4単位 講義)

授業の方針・概要

日本語Iに引き続き、大学で学ぶために必要な日本語力を習得する。話す活動を中心とした授業を行うので、積極的に予習と復習をすることを求める。日本語IIに関しては、専門用語の確認は継続し、その他中級文法の定着及びその運用能力の向上を目指す。また、対話、発表などのタスクを通じて、日本語力を高めると同時にテーマについての思考力と表現力を養成する。

到達目標 (学修成果)

講義や発表を理解する力をさらに高める。習得した文法事項を使いこなし、表現力とともにレポートや論文を書くため、およびプレゼンテーションに必要な基礎的な日本語力を身に付ける。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目の中の外国語選択必須科目で、また、グローバル人材としての日本語による円滑なコミュニケーション能力を養い、異文化理解力、豊かな感性、表現力を涵養することを目指している。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

通常の授業内で返却・解説します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

『JLPT文法N3ポイント&プラクティス』 著者：斎藤明子・田川麻央・森田亮子 等 出版社：スリーエーネットワーク

『話す・書くにつながる！日本語読解(中級)』著者：小野恵久子、遠藤千鶴、大久保伸枝、山中みどり 出版社：アルク

参考文献

必要に応じて提示します。

オフィスアワー・研究室

第1回の授業で説明します。

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	ガイダンス 【語彙・文法知識】これは化粧品の宣伝だ。専門用語	【予習】シラバスを読む。	30分
2回 各自	【語彙・文法知識】電気屋でパソコンを買う。専門用語 【読解・対話】7課「遺伝子検査」	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
3回 各自	【語彙・文法知識】お勤めの観光地を聞く。専門用語 【読解・対話】7課「遺伝子検査」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
4回 各自	【語彙・文法知識】接続詞と副詞。専門用語 【読解・対話】8課「コミュニケーションの日本語」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
5回 各自	【語彙・文法知識】法律相談所に電話をかける。専門用語 【読解・対話】8課「コミュニケーションの日本語」	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
6回 各自	【語彙・文法知識】これは映画の広告だ。専門用語 【読解・対話】9課「丸裸の山で」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
7回 各自	【語彙・文法知識】言葉の意味を調べる。専門用語。 【読解・対話】9課「丸裸の山で」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
8回 各自	【語彙・文法知識】先生に年賀状を送る。専門用語 【読解・対話】10課「何かを選択すればゴールに近づく」	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
9回 各自	【語彙・文法知識】車の事故があったそうだ。専門用語 【読解・対話】10課「何かを選択すればゴールに近づく」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
10回 各自	【語彙・文法知識】新聞社に私の意見を送る。専門用語 【読解・対話】12課「見通す力」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
11回 各自	【語彙・文法知識】スピーチをする。専門用語 【読解・対話】12課「見通す力」	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】発表準備	60分
12回 各自	【語彙・文法知識】部屋を借りる。専門用語 【対話】プロジェクト	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】発表準備	60分
13回 各自	【語彙・文法知識】健康診断を受ける。専門用語 【対話】プロジェクト	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】発表準備	60分
14回 各自	【期末試験の説明・復習】 【対話】プロジェクト	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】期末試験の準備	60分
15回 各自	期末試験	【予習】期末試験の準備	90分

ホスピタリティ・ビジネスマナー実践

赤木 久美子

服飾表現学科 3年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

本科目は、社会人に求められるビジネスマナー（挨拶・表情・身だしなみ・態度・言葉遣い）を、相手への配慮を重視したホスピタリティの視点から身に着ける科目です。1年次科目「社会人基礎」で学んだ自己理解、コミュニケーション内容を基盤に、就職活動に直結する実践力を向上させることを目的とします。

到達目標（学修成果）

ビジネスマナーを形式的に学ぶだけでなく、ホスピタリティを理解し、社会人として信頼される印象形成力を高め、自己PRや面接に必要な自己表現力の向上を目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は専門選択科目の卒業要件科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎授業内で、前回の質問・感想のフィードバックをし、最終回に総合課題の解説を行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

授業の進行に合わせてプリントを配布します。

オフィスアワー・研究室

連絡研究室：教務課(本校舎1階) 出講日：水曜日

備考

授業内容は、進度により、日程及び内容を変更する場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 赤木	オリエンテーション・授業概要説明 本科目の意義、「社会人基礎」とのつながり	予習：シラバスを確認し、授業の概要を把握する	30分
2回 赤木	ホスピタリティとは何か（基礎理論） 概念理解・行動例・サービスとの違い	復習：ホスピタリティの概念を確認する	30分
3回 赤木	ホスピタリティ行動の実践 グループワーク	復習：相手視点の行動を確認し、実践する	30分
4回 赤木	ビジネスマナー5要素 挨拶 ロールプレイ	復習：ホスピタリティとしての挨拶を理解し、実践する	30分
5回 赤木	ビジネスマナー5要素 表情 グループワーク	復習：印象形成と非言語コミュニケーションを理解し実践する	30分
6回 赤木	ビジネスマナー5要素 身だしなみ グループワーク	復習：就職活動における身だしなみの意味を理解する	30分
7回 赤木	ビジネスマナー5要素 姿勢・態度 ロールプレイ	復習：態度が信頼感に直結することを理解する	30分
8回 赤木	ビジネスマナー5要素 言葉遣い・話し方 ロールプレイ	復習：敬語の習得と伝わる話し方を理解し、実践する	30分
9回 赤木	自己理解（強み・価値観の整理） ペアワーク	復習：自分の強みを言語化する	30分
10回 赤木	自己PRの基本構造（PREP法）	復習：自己PRを完成させる	60分
11回 赤木	自己PR実践演習 グループワーク	復習：自己PRの改善ポイントを理解する	30分
12回 赤木	面接マナー グループワーク	復習：面接場面での基本動作と応答について確認する	30分
13回 赤木	模擬面接 ロールプレイ	復習：面接場面での基本動作と応答の改善点を確認する	30分
14回 赤木	まとめ	予習：全配布資料を確認する	60分
15回 赤木	課題のフィードバックを行う	復習：自身の課題を確認する	30分

博物館展示論

菅野 ももこ

服飾表現学科 3年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

博物館における「展示」とは、各館が固有に掲げるポリシーに沿って収集し、調査し研究した結果を担当学芸員が中心となって、ある一つのテーマを設け、広く社会に公開する貴重な機会です。本授業では、学芸員のみならず、多くの専門的知識を有する人々が関わり、それぞれが持つ技術や知識を終結させて作り出される展覧会のシステムと、企画・構成段階からオープンまでの長い準備期間の課程、会期中の取り組みについて学びます。

到達目標 (学修成果)

博物館における展示の歴史や、展示期間中の作品の保存管理、教育普及的側面について多角的に学ぶことができる。
これまで訪れたことのある博物館の展覧会を振り返りながら、本授業を受講する中で来館者としての視点と、新たに展覧会を生み出す側の視点を持って考えることができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は、卒業要件科目ではありません。
博物館学芸員資格取得のための学芸員課程必修科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内容に応じて用意する課題レポートについて、添削やコメントを付して対面で返却します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

課題内容に即した資料プリントを配布します。

オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

備考

状況により、日程や内容を変更する場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 菅野	ガイダンス シラバスの説明 世界の服飾博物館の紹介	予習：シラバスの確認。	30分
2回 菅野	博物館における展示 - 教育的視点の芽生えと発展 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分
3回 菅野	展覧会の企画と構成 - 展示作品のセレクトと会場の検討 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分
4回 菅野	博物館におけるグラフィックデザインと広報活動 - 展覧会準備の舞台裏 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分
5回 菅野	アクティブラーニング - 本学衣裳博物館の所蔵品検索と企画展を構想する(1) -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分
6回 菅野	アクティブラーニング - 本学衣裳博物館の所蔵品検索と企画展を構想する(2) -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分
7回 菅野	会場の施工と展示什器 - マネキンのセレクトとケースの採寸 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分
8回 菅野	作品の搬入と展示作業 - 美術梱包と専門技能 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分
9回 菅野	展覧会の運営と作品保護 - 照明への配慮と虫害対策 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分
10回 菅野	展覧会オープンに向けて - 内覧会のシステムと図録などの印刷物の配布 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分
11回 菅野	展覧会のオープン - ガラリートークと多様なプログラムの開催 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分
12回 菅野	展覧会の終焉 - 借用資料の返却と収蔵庫への再配架 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分
13回 菅野	アクティブラーニング - 本学衣裳博物館の所蔵品鑑賞ガイドの製作(1) -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分
14回 菅野	アクティブラーニング - 本学衣裳博物館の所蔵品鑑賞ガイドの製作(2) -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分
15回 菅野	総括 課題レポートの提出と講評	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分

博物館教育論

浪川 幹夫

服飾表現学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

博物館における教育は、博物館の総体であると考えなければならない。したがって、博物館の基本機能は、すべて博物館教育を目的としている。つまり、収集・保存・研究は展示と教育を目的としているので、博物館教育論は博物館の最終機能となる。

展示は博物館教育の基本であるが、展示論は別途科目として存在するため、ここでは展示及び展示関連事業を基本とした教育諸活動に焦点をあてて理解を求める。

到達目標(学修成果)

- ・博物館教育活動の歴史と概念の理解
- ・博物館における教育諸活動の具体的実践

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員になるための資格取得(大学を卒業して学士の学位を取得して学芸員になるための資格を取得する方法)のために、文部科学省令の定める大学で習得するべき博物館に関する科目の単位の一つ。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業終了3日前から課題作成を行い、最終日に提出。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

授業資料プリントを作成する。

参考文献

授業時に適宜指示する。

オフィスアワー・研究室

前期 月曜日(14:00~14:30)

備考

成績表は、課題提出による。課題は、授業終了3日前から課題作成を行い、最終日に提出するものとする。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 浪川	ガイダンス 自己紹介 鎌倉の博物館紹介 授業の進め方	予習: シラバス(学芸員課程部分)をよく確認する	30分
2回 浪川	博物館法および関係法規から見る博物館教育(講義・前半)	復習: 配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
3回 浪川	博物館法および関係法規から見る博物館教育(講義・後半)	復習: 配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
4回 浪川	博物館教育の概念と歴史・教育論研究史(講義)	復習: 配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
5回 浪川	博物館教育の具体例 ミュジアムワークシート・ミュジアムワークショップ(講義)	復習: 配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
6回 浪川	博物館教育の具体例 講演会・講座・出前授業・各種ワークショップ(講義)	復習: 配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
7回 浪川	杉野学園衣裳博物館を見学(博物館教育論の視点から)	復習: 配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
8回 浪川	展示資料の取り扱いと、展示手法について(博物館教育論の観点から・実技)	復習: 配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
9回 浪川	博物館教育論の観点から行う、資料の研究手法(実技。絵巻物読解)	復習: 配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
10回 浪川	博物館教育論の観点から行う、資料の研究手法(実技。写真撮影についてと図録作成・概説・実技)	復習: 配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
11回 浪川	ミュジアムワークシートの作成のための概念説明及び実技(講義と、対象博物館選定・実技)	復習: 配布資料の読み返し、授業の振り返り(ワークシート作成準備)	30分
12回 浪川	ミュジアムワークシートの作成(実技)	復習: ワークシートの作成	30分
13回 浪川	ミュジアムワークシートの作成(実技)	復習: ワークシートの作成	30分
14回 浪川	ミュジアムワークシートの作成(実技)	復習: ワークシートの作成および配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
15回 浪川	まとめ(成果物の提出と評価)	復習: 14回全体の振り返り	40分

博物館情報・メディア論

丸山 憲子

服飾表現学科 3年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

博物館を「情報」「メディア」という語をキーワードに学んでいく。「情報」「メディア」という用語の理解の上、実際の今日の博物館での資料の情報化他「情報」の諸相、「情報」の伝達手段としての「メディア」の実際について学習していく。

到達目標(学修成果)

博物館における「情報」「メディア」についての基本的知識の習得。
博物館活動における「情報」の本質について考察できることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員になるための資格取得(大学を卒業して学士の学位を取得するとともに得られる資格)のために、文部科学省令の定める大学で習得すべき科目の一つ。卒業要件科目ではありません。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

小テスト・試験後の解説

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

授業時に指示します。

参考文献

随時、紹介します。
課題内容に即した資料プリントを配布します。

オフィスアワー・研究室

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。

備考

博物館に関する時事問題を随時取り上げます。
学生の興味・関心に応じて弾力的に対応します。
普段から博物館見学、博物館に関する情報収集等積極的に行いましょう。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 丸山	オリエンテーション(博物館情報・メディア論の概要の説明・授業計画)	予習: シラバス(学芸員課程部分)を読んでおくこと。	30分
2回 丸山	コレクション・ドキュメンテーション について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
3回 丸山	コレクション・ドキュメンテーション について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
4回 丸山	データベース化、デジタル・アーカイブについて学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
5回 丸山	博物館における情報管理と情報発信について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
6回 丸山	博物館における権利関係について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
7回 丸山	技術革新と博物館活動について学習する。資料の情報化・情報管理・情報発信についてのまとめ(小テスト)	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
8回 丸山	広報と情報について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
9回 丸山	博物館における視聴覚メディアの歴史を学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
10回 丸山	今日の博物館展示における視聴覚メディアについて学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
11回 丸山	まとめ(小テスト)及びプレゼンテーションのための説明。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。プレゼンテーション準備。	60分
12回 丸山	実在する博物館を挙げてメディア論の観点よりプレゼンテーション	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。プレゼンテーション準備。	60分
13回 丸山	実在する博物館を挙げてメディア論の観点よりプレゼンテーション	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	30分
14回 丸山	博物館における映像展示の特性について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。全体の振り返り	60分
15回 丸山	総まとめ	復習: 全体の振り返り	60分